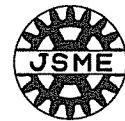


1号議案

2010年度(第88期)
事業報告書

〔自 2010年3月 1日
至 2011年2月28日〕



一般社団法人 日本機械学会

1. 法人全般に係る事項

1・1 役員に関する事項

1・1・1 役員就任者

役名	氏名	就任年月日	担当職務	手当	常勤・非常勤	現職	備考
理事	松本 洋一郎	2009. 4. 7	会長	なし	非常勤	東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻 教授, 理事, 副学長	
〃	佐藤 順一	2010. 4. 23	筆頭副会長	〃	〃	(株) II-II検査計測 代表取締役社長	
〃	久保 司郎	2009. 4. 7	副会長	〃	〃	大阪大学大学院工学研究科機械工学専攻 教授	
〃	藤江 正克	2009. 4. 7	〃	〃	〃	早稲田大学理工学部創造理工学部総合機械工学科 教授	
〃	森村 勉	2010. 4. 23	〃	〃	〃	東海旅客鉄道(株) 専務取締役	
〃	近藤 良之	2010. 4. 23	庶務理事	〃	〃	九州大学大学院工学研究院機械工学部門 教授	
〃	鈴木 康文	2009. 4. 7	〃	〃	〃	(財) 鉄道総合技術研究所 研究開発推進室 主管研究員	
〃	成田 吉弘	2010. 4. 23	〃	〃	〃	北海道大学大学院工学研究院人間機械システムデザイン部門 教授・副院長	
〃	藤井 孝藏	2009. 4. 7	〃	〃	〃	(独) 宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所宇宙輸送工学研究系 教授	
〃	狼 芳明	2009. 4. 7	財務理事	〃	〃	(株) いすゞ中央研究所 取締役	
〃	小田 裕司	2010. 4. 23	〃	〃	〃	三菱重工業(株) 技術本部横浜研究所 主幹研究員	
〃	金子 成彦	2010. 4. 23	〃	〃	〃	東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻 教授	
〃	池川 正人	2010. 4. 23	編修理事	〃	〃	(株) 日立製作所 機械研究所 主管研究員	
〃	植田 利久	2010. 4. 23	〃	〃	〃	慶應義塾大学大学院理工学研究科開放環境科学専攻 教授	
〃	桑野 博喜	2010. 4. 23	〃	〃	〃	東北大学大学院工学研究科ナメカニクス専攻 教授	
〃	田中 英一	2010. 4. 23	〃	〃	〃	名古屋大学大学院工学研究科機械理工学専攻 教授	
〃	中井 善一	2010. 4. 23	〃	〃	〃	神戸大学大学院工学研究科機械工学専攻 教授	
〃	後藤 彰	2009. 4. 7	企画理事	〃	〃	(株) 荏原製作所 風水力機械カンパニー開発統括部 副統括部長	
〃	橋本 律男	2009. 4. 7	〃	〃	〃	広島大学産学・地域連携センター 教授	
〃	前川 治	2010. 4. 23	〃	〃	〃	(株) 東芝 電力システム社 統括技師長	
〃	山崎 光悦	2010. 4. 23	〃	〃	〃	金沢大学理工研究域長 機械工学系 バイオニックデザイン研究室 教授	
〃	佐藤 純	2010. 4. 23	広報理事	〃	〃	東京工業大学大学院理工学研究科機械制御システム専攻 教授	
〃	鈴木 真二	2009. 4. 7	〃	〃	〃	東京大学大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻 教授	
〃	福澤 清和	2009. 4. 7	常勤理事	〃	常勤	(社) 日本機械学会 事務局嘱託	
監事	柏木 孝夫	2010. 4. 23	会務監査	〃	非常勤	東京工業大学ソリューション研究機構 教授	
〃	松久 寛	2009. 4. 7	〃	〃	〃	京都大学大学院工学研究科機械理工学専攻 教授	
評議員	青山 藤詞郎	2010. 4. 23	重要事項評議	〃	〃	慶應義塾大学理工学部長システムデザイン工学科 教授	
〃	浅間 一	〃	〃	〃	〃	東京大学大学院工学系研究科精密機械工学専攻 教授	
〃	小豆島 明	〃	〃	〃	〃	横浜国立大学大学院工学研究院 教授	
〃	新井 健生	〃	〃	〃	〃	大阪大学大学院基礎工学研究科システム創成専攻システム科学領域 教授	
〃	荒川 忠一	〃	〃	〃	〃	東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻 教授	
〃	荒木 勉	〃	〃	〃	〃	大阪大学大学院基礎工学研究科機能創成専攻 教授	
〃	飯田 訓正	〃	〃	〃	〃	慶應義塾大学理工学部システムデザイン工学科 教授	
〃	飯田 康博	〃	〃	〃	〃	(株) デンソー (DNTH 部長待遇)	
〃	飯山 明裕	〃	〃	〃	〃	日産自動車(株) 総合研究所EVシステム研究所 所長	
〃	池川 正人	〃	〃	〃	〃	(株) 日立製作所 機械研究所 主管研究員	
〃	池田 和弘	〃	〃	〃	〃	三浦工業(株) 舶用技術部舶用技術部 統括部長	
〃	井小薪 利明	〃	〃	〃	〃	東北大学流体科学研究所 教授	
〃	石川 哲浩	〃	〃	〃	〃	トヨタ自動車(株) 本社技術BR-EVシステム開発室 主査	
〃	石川 雅信	〃	〃	〃	〃	アイシン精機(株) 技術開発部門 常務役員	
〃	石瀬 史朗	〃	〃	〃	〃	三菱重工業(株) 原動機事業本部プラント事業部長崎プラント建設部 部長	
〃	石原 国彦	〃	〃	〃	〃	徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部エネルギー・システム部門 教授	
〃	磯村 浩介	〃	〃	〃	〃	(株) IHI 航空宇宙事業本部技術開発センター・エンジン技術部プロジェクトグループ 主幹	
〃	一ノ瀬 利光	〃	〃	〃	〃	三菱重工業(株) 横浜研究所 所長	
〃	伊藤 智博	〃	〃	〃	〃	大阪府立大学大学院工学研究科機械工学分野 教授	
〃	伊藤 義康	〃	〃	〃	〃	(株) 東芝 電力システム社(PIC) 首席技監	
〃	稻田 文夫	〃	〃	〃	〃	(財) 電力中央研究所 原子力技術研究所発電基盤技術領域 上席研究員	
〃	井上 洋	〃	〃	〃	〃	(株) 日立製作所 エネルギー・環境システム研究所ガスタービンプロジェクト チーフプロジェクトリーダー	
〃	井上 博之	〃	〃	〃	〃	東レ(株) エンジニアリング開発センター	
〃	今西 悅二郎	〃	〃	〃	〃	(株) 神戸製鋼所 技術開発本部機械研究所 次長	
〃	岩井 善郎	〃	〃	〃	〃	福井大学大学院工学研究科機械工学専攻 教授	
〃	岩本 隆志	〃	〃	〃	〃	(株) 日本製鋼所 室蘭研究所 副所長	
〃	植木 弘信	〃	〃	〃	〃	長崎大学工学部機械システム工学科 教授	
〃	植田 利久	〃	〃	〃	〃	慶應義塾大学大学院理工学研究科開放環境科学専攻 教授	
〃	上野 恵尉	〃	〃	〃	〃	(株) 日立製作所 生産技術研究所 主管研究員	
〃	上野 誠也	〃	〃	〃	〃	横浜国立大学大学院環境情報研究院 教授	

評議員	魚住 弘人	2010. 4. 23	重要事項評議	なし	非常勤	日立GEニュークリア・エナジー(株)日立事業所 副社長 副事業所長 横浜国立大学大学院工学研究院システムの創生部門 教授
〃	宇高 義郎	〃	〃	〃	〃	兵庫県立大学大学院工学研究科機械系工学専攻機械工学部門 教授
〃	内田 仁	〃	〃	〃	〃	いすゞ自動車(株)エンジン実験第一部・エンジン実験第二部7-RPO 執行担当
〃	宇野 浩	〃	〃	〃	〃	愛媛大学大学院理工学研究科生産環境工学専攻 教授 (株)いすゞ中央研究所 取締役
〃	黄木 景二	〃	〃	〃	〃	大阪府立大学大学院工学研究科機械系専攻機械工学分野 教授 (株)豊田中央研究 所試作開発部
〃	狼 芳明	〃	〃	〃	〃	日立オートモティブシステムズ(株)パワートレイン&電子事業部制御シ ステム設計部 チーフプロジェクトリーダー
〃	大久保 雅章	〃	〃	〃	〃	京都工芸繊維大学大学院工芸科学研究科 機械システム工学部門 教授
〃	大久保 陽一郎	〃	〃	〃	〃	名古屋大学大学院工学研究科計算理工学専攻 教授
〃	大須賀 稔	〃	〃	〃	〃	東北大学流体科学研究所流体融合研究センター 教授
〃	太田 稔	〃	〃	〃	〃	名城大学理工学部機械システム工学科 教授 (株)IHI 技術開発本部スタッフグループ 技師長
〃	岡部 友三朗	〃	〃	〃	〃	日産自動車(株)S-XG2企画・先行技術開発本部車両性能開発部 エキスパート・リーダー
〃	岡本 繁	〃	〃	〃	〃	(財)鉄道総合技術研究所 顧問
〃	岡本 伸吾	〃	〃	〃	〃	愛媛大学大学院理工学研究科生産環境工学専攻 教授
〃	小川 隆希	〃	〃	〃	〃	(株)豊田自動織機 常務執行役員
〃	奥住 直明	〃	〃	〃	〃	(株)東芝 社会・産業部長
〃	小澤 守	〃	〃	〃	〃	関西大学社会安全学部 教授
〃	小瀬 公利	〃	〃	〃	〃	三菱重工業(株) 技監・主幹研究員
〃	小田 裕司	〃	〃	〃	〃	三菱重工業(株)技術本部横浜研究所 主幹研究員
〃	帶川 利之	〃	〃	〃	〃	東京大学生産技術研究所機械・生体系部門 教授
〃	小山田 修	〃	〃	〃	〃	原子力安全委員会 委員
〃	海保 真行	〃	〃	〃	〃	(株)日立製作所 機械研究所第一部 部長
〃	香川 裕之	〃	〃	〃	〃	関西電力(株)電力技術研究所電力基盤技術研究室(発電) チーフリ サーチャー
〃	柿崎 隆夫	〃	〃	〃	〃	日本大学工学部機械工学科 教授
〃	笠原 章裕	〃	〃	〃	〃	(株)東芝 研究開発センター 技監
〃	風間 俊治	〃	〃	〃	〃	室蘭工業大学大学院もの創造系領域 教授
〃	加藤 也寸彦	〃	〃	〃	〃	新日鉄エンジニアリング(株)環境ソリューション事業部計画技術部 技 術室 マネジャー
〃	門田 浩次	〃	〃	〃	〃	川崎重工業(株)技術研究所強度研究部 部長
〃	金子 成彦	〃	〃	〃	〃	東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻 教授
〃	鎌田 実	〃	〃	〃	〃	東京大学高齢社会総合研究機構 機構長
〃	神谷 修	〃	〃	〃	〃	秋田大学大学院工学資源学研究科機械工学専攻 教授
〃	亀ヶ森 恵司	〃	〃	〃	〃	東北発電工業(株) 常務取締役
〃	河合 理文	〃	〃	〃	〃	(株)IHI 基盤技術研究所解析技術部 主幹研究員
〃	川上 崇	〃	〃	〃	〃	富山県立大学工学部機械システム工学科 教授
〃	川口 清司	〃	〃	〃	〃	富山大学大学院理工学研究部 教授
〃	河瀬 宗之	〃	〃	〃	〃	(株)クボタ 堆積造機試作部 部長
〃	川田 裕	〃	〃	〃	〃	大阪工業大学工学部機械工学科教授 工学部長
〃	河野 治	〃	〃	〃	〃	新日鉄エンジニアリング(株)取締役常務執行役員 技術開発研究所 所長
〃	川端 克宏	〃	〃	〃	〃	ダイキン工業(株)環境技術研究所 主席研究員
〃	河原 源太	〃	〃	〃	〃	大阪大学大学院基礎工学研究科機能創成専攻 教授
〃	川本 広行	〃	〃	〃	〃	早稲田大学基幹理工学部機械科学・航空学科 教授
〃	康 倫明	〃	〃	〃	〃	ダイキン工業(株)環境技術研究所 参事
〃	岸本 喜久雄	〃	〃	〃	〃	東京工業大学大学院理工学研究科機械物理工学専攻 教授
〃	北野 誠	〃	〃	〃	〃	(株)日立製作所 機械研究所 主管研究員
〃	北村 隆行	〃	〃	〃	〃	京都大学大学院工学研究科機械理工学専攻 教授
〃	木村 康治	〃	〃	〃	〃	東京工業大学大学院情報理工学研究科情報環境学専攻 教授
〃	京極 秀樹	〃	〃	〃	〃	近畿大学工学部 工学部長
〃	久保 司郎	〃	〃	〃	〃	大阪大学大学院工学研究科機械工学専攻 教授
〃	栗原 雅樹	〃	〃	〃	〃	(株)日立製作所 総合教育センタモノづくり教育本部日立工業専門院 院 教授
〃	桑野 博喜	〃	〃	〃	〃	東北大学大学院工学研究科ナノメカニクス専攻 教授
〃	合田 公一	〃	〃	〃	〃	山口大学工学部機械工学科 教授
〃	古口 日出男	〃	〃	〃	〃	長岡技術科学大学機械系 教授
〃	小菅 一弘	〃	〃	〃	〃	東北大学大学院工学研究科バイオロボティクス専攻 教授
〃	後藤 彰	〃	〃	〃	〃	(株)荏原製作所 風水力機械カンパニー開発統括部 副統括部長
〃	後藤 知伸	〃	〃	〃	〃	鳥取大学大学院工学研究科機械宇宙工学専攻 教授
〃	小林 正生	〃	〃	〃	〃	(株)IHI 技術開発本部 技監
〃	小松 敬治	〃	〃	〃	〃	(独)宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究本部宇宙構造・材料工学 研究系 教授

評議員	小森 悟	2010. 4. 23	重要事項評議	なし	非常勤	京都大学大学院工学研究科機械理工学専攻 教授 九州大学大学院工学研究院機械工学部門 教授 (株)テツゲン 取締役技術部長
〃	近藤 孝広	〃	〃	〃	〃	九州大学大学院工学研究院機械工学部門 教授
〃	近藤 博俊	〃	〃	〃	〃	(株)IHI 基盤技術研究所機械要素研究部 部長
〃	近藤 良之	〃	〃	〃	〃	日立電線(株)技術本部 技術研究所電子部品研究部 部長
〃	斎藤 修	〃	〃	〃	〃	広島大学産学・地域連携センター新産業創出・教育部門 教授
〃	斎藤 直人	〃	〃	〃	〃	(株)IHI 原子力セクター 技監
〃	三枝 省三	〃	〃	〃	〃	東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻 教授
〃	坂井 彰	〃	〃	〃	〃	トヨタ自動車(株)本社技術設計品質改善部 部長
〃	酒井 信介	〃	〃	〃	〃	東北電力(株)火力部 火力部長
〃	阪田 勝利	〃	〃	〃	〃	弘前大学大学院理工学研究科知能機械システム工学専攻 教授
〃	佐久間 直勝	〃	〃	〃	〃	東日本旅客鉄道(株)研究開発センター安全研究所 次長
〃	笹川 和彦	〃	〃	〃	〃	北見工業大学工学部機械工学科 教授
〃	佐々木 浩一	〃	〃	〃	〃	(元)味の素エンジニアリング(株)
〃	佐々木 正史	〃	〃	〃	〃	東京工業大学大学院理工学研究科機械制御システム専攻 教授
〃	佐田 守弘	〃	〃	〃	〃	名古屋大学大学院工学研究科マイクロ・ナノシステム工学専攻 教授
〃	佐藤 熟	〃	〃	〃	〃	バブコック日立(株)企画本部知的財産部 部長
〃	佐藤 一雄	〃	〃	〃	〃	(株)IHI検査計測 代表取締役社長
〃	佐藤 一教	〃	〃	〃	〃	(株)本田技術研究所 四輪R&Dセンター企画室第4BL 主任研究員
〃	佐藤 順一	〃	〃	〃	〃	慶應義塾大学理工学部システムデザイン工学科 教授
〃	佐藤 俊彦	〃	〃	〃	〃	(財)電力中央研究所 エネルギー技術研究所 首席研究員
〃	佐藤 春樹	〃	〃	〃	〃	大阪市立大学大学院工学研究科機械物理系専攻 教授
〃	佐藤 幹夫	〃	〃	〃	〃	東北大学流体科学研究所 教授
〃	佐藤 嘉洋	〃	〃	〃	〃	京都大学大学院エネルギー科学研究科エネルギー変換科学専攻 教授
〃	寒川 誠二	〃	〃	〃	〃	Hitz日立造船(株)事業・製品開発本部 本部長
〃	塩路 昌宏	〃	〃	〃	〃	九州電力(株)長崎支店 支店長
〃	清水 徹	〃	〃	〃	〃	東海旅客鉄道(株)常務執行役員東海道新幹線21世紀対策本部リニア開発本部長
〃	莊野 尚志	〃	〃	〃	〃	金沢工業大学工学部機械系学科 教授
〃	白國 紀行	〃	〃	〃	〃	岩手大学工学部機械工学科 教授
〃	新谷 一博	〃	〃	〃	〃	(株)デンソー 技術開発企画部 専務取締役
〃	菅野 良弘	〃	〃	〃	〃	住友金属工業(株)総合技術研究所先進デザイン研究開発部 主任研究員
〃	杉 光	〃	〃	〃	〃	九州大学大学院工学研究院機械工学部門 教授
〃	杉野 正明	〃	〃	〃	〃	大阪府立大学大学院工学研究科機械系専攻機械工学分野 教授
〃	杉村 丈一	〃	〃	〃	〃	広島大学大学院工学研究科機械物理工学専攻 教授
〃	杉村 延広	〃	〃	〃	〃	三重大学大学院工学研究科機械工学専攻 教授
〃	菅田 淳	〃	〃	〃	〃	東京大学大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻 教授
〃	鈴木 実平	〃	〃	〃	〃	日本精工(株)軸受技術センター鉄道・航空技術部
〃	鈴木 真二	〃	〃	〃	〃	(財)鉄道総合技術研究所 研究開発推進室 主管研究員
〃	鈴木 政治	〃	〃	〃	〃	東京工業大学大学院理工学研究科機械宇宙システム専攻 教授
〃	鈴木 康文	〃	〃	〃	〃	岡山大学大学院自然科学研究科産業創成工学専攻知能機械システム講座 教授
〃	鈴村 晓男	〃	〃	〃	〃	須田 義大
〃	鈴森 康一	〃	〃	〃	〃	東京大学生産技術研究所 教授
〃	須藤 亮	〃	〃	〃	〃	(株)東芝 研究開発センター所長 執行役上席常務
〃	炭谷 圭二	〃	〃	〃	〃	トヨタ自動車(株)本社技術車両技術開発部 主査
〃	高木 均	〃	〃	〃	〃	徳島大学大学院ソシオテクノサイエンス研究部先進物質材料部門 教授
〃	高木 愛夫	〃	〃	〃	〃	東京電力(株)技術開発研究所材料技術センター構造材料技術グループ マネージャー
〃	高瀬 秀樹	〃	〃	〃	〃	(株)ヴァイナス 技術二部
〃	高橋 浩	〃	〃	〃	〃	(株)IHIシーバウラ 技術開発センター センター長
〃	高松 洋	〃	〃	〃	〃	九州大学大学院工学研究院機械工学部門熱工学講座 教授
〃	高見 敏弘	〃	〃	〃	〃	岡山理科大学工学部機械システム工学科 教授
〃	瀧本 昭	〃	〃	〃	〃	金沢大学理工研究域機械工学系 热科学研究室 教授
〃	武 浩司	〃	〃	〃	〃	川崎重工業(株)ガスタービン・機械カンパニー 技術総括部産業ガスタービン技術部 部長
〃	竹内 覚	〃	〃	〃	〃	UDトラックス(株) 代表取締役社長
〃	武田 展雄	〃	〃	〃	〃	東京大学大学院新領域創成科学研究科先端エネルギー工学専攻 教授
〃	竹中 信幸	〃	〃	〃	〃	神戸大学大学院工学研究科機械工学専攻 教授
〃	武本 徹	〃	〃	〃	〃	ヤンマー(株)中央研究所研究センター 主幹研究員
〃	但野 茂	〃	〃	〃	〃	北海道大学大学院工学研究科人間機械システムデザイン 教授
〃	田中 英一	〃	〃	〃	〃	名古屋大学大学院工学研究科機械理工学専攻 教授
〃	田村 武夫	〃	〃	〃	〃	新潟大学工学部機械システム工学科 准教授
〃	近久 武美	〃	〃	〃	〃	北海道大学大学院工学研究科エネルギー環境システム専攻 教授
〃	津江 光洋	〃	〃	〃	〃	東京大学大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻 教授

評議員	土屋 総二郎	2010. 4. 23	重要事項評議	なし	非常勤	(株)デンソー 専務取締役 生産技術部 日立金属(株)生産システム研究所 研究所長 九州工業大学大学院工学研究院機械知能工学研究系 教授 香川大学工学部知能機械システム工学科知能機械設計講座 名古屋工業大学大学院機能工学専攻(つくり領域) 教授 北海道工業大学創性工学部機械システム工学科 教授 岡山大学大学院自然科学研究科産業創成工学専攻 教授 長野工業高等専門学校機械工学科 教授 神戸大学大学院工学研究科機械工学専攻 教授 三菱電機(株)生産技術センター構造部 部長 東北大学大学院工学研究科技術社会システム専攻 教授 宮崎大学工学部機械システム工学科 教授 中野 正樹 日産自動車(株)S YE1総合研究所EVシステム研究所 担当部長 東北大学大学院工学研究科航空宇宙工学専攻 教授 中橋 和博 中村 隆 中村 保 中村 春夫 東京工業大学大学院理工学研究科機械制御システム専攻 教授 中村 隆次 永村 和照 成田 吉弘 西垣戸 貴臣 (株)日立製作所 日立研究所情報制御第三研究部 西田 恵哉 広島大学大学院工学研究院機械物理工学専攻 准教授 西田 晴茂 (株)小松製作所 プロダクトサポート本部 主幹 野木 利治 (株)日立製作所 日立研究所企画室 室長 野田 進 豊橋技術科学大学機械工学系 教授 野波 健蔵 千葉大学大学院工学研究科人工システム科学専攻 理事・教授 野村 信福 愛媛大学大学院 理工学研究科 生産環境工学専攻機械工学コース 教授 野本 秀雄 (株)東芝 電力システム社 首席技監 萩原 世也 佐賀大学理工学部機械システム工学科 教授 橋本 律男 広島大学産学・地域連携センター 教授 服部 仁志 (株)東芝 研究開発センター機械・システムラボラトリー 参事 羽根 一博 東北大学大学院工学研究科ナノメカニクス専攻 教授 久谷 益士郎 三井造船(株)技術本部 技師長 姫野 修廣 信州大学纖維学部創造工学系機能機械学課程 教授 福島 康雄 (株)日立プラントテクノロジー 社会・産業システム事業本部土浦事業 所 主管技師長 福原 稔 鹿児島大学大学院理工学研究科機械工学専攻 教授 藤井 彰 新日本製鐵(株)名古屋製鐵所設備部機械技術グループ 藤井 孝藏 (独)宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所宇宙輸送工学研究系 教授 藤井 透 志同社大学理工学部機械システム工学科 教授 藤江 正克 早稲田大学理工学部創造理工学部総合機械工学学科 教授 藤本 浩司 東京大学大学院工学系研究科航空宇宙工学専攻 教授 藤原 和人 熊本大学大学院自然科学研究科 教授 藤原 清志 マツダ(株)執行役員 商品企画・PT開発担当 淵上 正朗 (株)小松製作所 取締役(兼)専務執行役員 古川 雅人 九州大学大学院工学研究院機械工学部門 教授 北条 公伸 三菱重工業(株)神戸造船所原子力機器設計部 主席技師 北條 春夫 東京工業大学精密工学研究所 教授 星野 明良 トヨタ自動車(株)東富士研究所ドライブトレーン先行開発部 部長 堀江 隆 新日本製鐵(株)棒線事業部室蘭製鐵所設備部 部長 本家 浩一 (株)神戸製鋼所 技術開発本部機械研究所振動音響研究室 室長 本田 知宏 福岡大学工学部機械工学科 教授 前川 治 (株)東芝 電力システム社 統括技師長 真壁 朝敏 琉球大学工学部機械システム工学科 教授 牧野 俊郎 京都大学大学院工学研究科機械理工学専攻 教授 松岡 薫 TDK(株)テクノロジーグループ技術企画部 部長兼デバイス開発セン ター長 松田 憲兒 三菱重工業(株)名古屋研究所所長室 次長 松村 正三 福井県工業技術センター 松本 洋一郎 東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻 教授 理事・副学長 三矢 金平 (株)豊田自動織機 取締役副社長 南 和幸 山口大学工学部機械工学科 教授 箕島 弘二 大阪大学大学院工学研究科機械工学専攻 教授 三原 新一 日立建機(株) 執行役専務 宮内 敏雄 東京工業大学大学院理工学研究科機械宇宙システム専攻 教授 武藤 瞳治 長岡技術科学大学 理事・副学長 六山 亮昌 三菱重工業(株)高砂製作所 副所長
-----	--------	-------------	--------	----	-----	--

評議員	村中 重夫	2010. 4. 23	重要事項評議	なし	非常勤	(元) 日産自動車(株) 北海道旅客鉄道(株) 鉄道事業本部運輸部 専任課長(新幹線)
〃	森 雅裕	〃	〃	〃	〃	東京電力(株) 技術開発本部技術開発研究所 部長・主席研究員
〃	森 治嗣	〃	〃	〃	〃	東海旅客鉄道(株) 専務取締役
〃	森村 勉	〃	〃	〃	〃	トヨタ自動車(株) 本社技術車両CAE部 シニアスタッフエンジニア
〃	安木 剛	〃	〃	〃	〃	パナソニック(株) 生産革新本部生産技術研究所 所長
〃	安平 宣夫	〃	〃	〃	〃	早稲田大学創造理工学部総合機械工学科 教授
〃	山川 宏	〃	〃	〃	〃	(株) IHI 技術開発本部 主席技監
〃	山口 幹夫	〃	〃	〃	〃	金沢大学理工研究域長 機械工学系 バイオニックデザイン研究室 教授
〃	山崎 光悦	〃	〃	〃	〃	教授
〃	山下 新太郎	〃	〃	〃	〃	岐阜大学工学部機械システム工学科 教授
〃	山田 一郎	〃	〃	〃	〃	東京大学大学院工学系研究科機械工学専攻 教授 副学長
〃	山田 充直	〃	〃	〃	〃	(株) 小松製作所 特機事業本部開発営業部
〃	山中 康司	〃	〃	〃	〃	(株) デンソー 熱機器企画部 常務役員
〃	山本 憲隆	〃	〃	〃	〃	立命館大学理工学部機械工学科 教授
〃	山本 全男	〃	〃	〃	〃	近畿大学理工学部機械工学科 教授
〃	湯上 浩雄	〃	〃	〃	〃	東北大学大学院工学研究科機械システムデザイン工学専攻 教授
〃	湯村 敬	〃	〃	〃	〃	三菱電機(株) 先端技術総合研究所メカトロニクス技術部
〃	吉田 敬介	〃	〃	〃	〃	九州大学大学院工学研究院 教授
〃	吉田 憲一	〃	〃	〃	〃	徳島大学工学部機械工学科 教授
〃	吉富 雄二	〃	〃	〃	〃	(株) 日立製作所 研究開発本部研究戦略統括センターIPビジネス推進 室 室長
〃	吉村 敏彦	〃	〃	〃	〃	吳工業高等専門学校機械工学科 教授
〃	米澤 実	〃	〃	〃	〃	(株) 東芝 研究開発センターシステム技術ラボラトリー 室長
〃	鷲尾 修司	〃	〃	〃	〃	大阪ガス(株)
〃	和田 有司	〃	〃	〃	〃	(独) 産業技術総合研究所 安全科学研究部門 主任研究員
〃	渡辺 富夫	〃	〃	〃	〃	岡山県立大学情報工学部情報システム工学科 教授

※2011年3月1日より一般社団法人へ移行登記により理事・監事は新法人として3月1日が就任日。

1・1・2 評議員・監事・継続理事の選挙結果

第89期評議員・監事・継続理事の選挙は2010年11月22日(月)で投票を締め切り、11月24日に開票を行い、集計は電算機で処理した。
投票数その他の結果は下記(a)～(c)のとおりである。

(a)有効票数

地区別	期別	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年
0区A(学界・官界等)		34,480	32,654	31,636	30,958	27,247
0区B(産業界等)		65,444	62,771	62,784	60,282	55,338
1区(東北)		3,674	4,059	3,740	3,795	3,608
2区(北海道)		1,288	1,112	1,256	1,072	1,064
3区(東海)		33,775	31,425	32,600	29,775	26,464
4区(関西)		29,319	28,565	26,242	25,439	22,514
5区(中国)		4,758	4,446	4,199	4,225	3,507
6区(四国)		1,792	2,080	2,048	2,256	2,232
7区(北陸信越)		3,432	3,384	3,036	3,419	2,962
8区(九州)		8,745	8,115	7,260	7,545	6,870
部 門		98,231	92,862	87,954	89,428	83,997
監 事		12,568	12,030	11,808	11,556	10,724
継続理事						73,627
計		297,506	283,503	274,563	269,750	320,154

1・2 職員に関する事項

職名	氏名	職員採用・赴任年月日	担当事務
常勤理事(嘱託)	畠 澤 清 和	1972.4.1	会務全般
事務局長	大 室 孝 幸	1973.1.1	学会運営
財務グループ課長	小 泉 真理子	1975.4.1	財務
	村 山 ゆかり	1976.8.1	総務
総合企画グループ課長	野 口 明 生	1987.4.1	総合企画
	遠 藤 貴 子	1988.4.1	財務
	加 藤 佐 知 子	1991.5.1	会員・情報管理
事業企画グループ課長	桑 原 武 夫	1992.4.1	会員・情報管理
	高 橋 正 彦	1992.4.1	事業企画
	川 峰 さおり	1993.4.1	出版・販売
	曾 根 原 雅 代	1993.4.1	出版・販売
会員・情報管理グループ課長	熊 谷 理 香	1993.5.1	総合企画
	高 杉 史 純	1998.4.1	会員・情報管理
総合企画グループ課長補佐	田 中 克	2001.9.1	総務
	小 阪 雅 裕	2002.4.1	総合企画
出版・販売グループ課長	小 流 真 也	2003.4.1	財務
	小 重 忠 司	2004.10.1	出版・販売
	井 上 理	2005.7.1	会員・情報管理
	荒 木 弘 寿	2006.5.1	事業企画
	川 島 礼 二 郎	2006.5.1	出版・販売
	高 橋 綾	2007.4.1	事業企画
	石 澤 章 弘	2007.10.1	出版・販売
	閑 根 郁 夫	2008.4.1	事業企画
	小 倉 辰 徳	2008.10.1	出版・販売
	仲 野 美 弥	2008.10.1	出版・販売
	渡 遼 賢 太	2008.10.1	財務
	大 黒 卓	2009.4.1	総務
	秋 山 宗 一 郎	2009.5.1	会員・情報管理
	大 通 千 昭	2009.5.1	総務
	大 竹 英 雄	2010.5.1	総合企画
(嘱託)	佐 藤 秋 雄	1972.12.1	事業企画
(嘱託)	星 野 美 代 子	1973.4.1	出版・販売
(出向)	高 柳 英 彰	2008.7.1	発電用設備規格
(出向)	薄 井 晴 男	2010.8.1	発電用設備規格
(出向)	海 野 啓 啓	2011.2.1	発電用設備規格

(b)投票率

地区別	期別	有効投票数										無効投票数										投票総数 B										投票率 B/A		当選者最低得票数	
		07年	08年	09年	10年	11年	07年	08年	09年	10年	11年	07年	08年	09年	10年	11年	07年	08年	09年	10年	11年	07年	08年	09年	10年	11年	07年	08年	09年	10年	11年	投票率 B/A		当選者最低得票数	
全国	31,321	32,102	32,080	31,621	30,993																														
監事	31,321	32,102	32,080	31,621	30,993	6,576	6,003	5,897	5,770	5,352	563	584	377	407	438	7,139	7,254	6,177	5,790	22,6%	19,6%	19,5%	18,7%	4,828	4,571	4,684	4,465	4,005							
0区(A学界・官界等)	13,942	14,109	13,966	13,668	13,375	2,186	2,085	2,004	1,959	1,753	172	156	148	149	208	2,356	2,584	2,152	2,108	1,961	16,9%	18,3%	15,4%	15,4%	14,7%	548	623	603	586	485					
0区(B産業界等)																																			
1区(東北)	1,282	1,323	1,367	1,376	1,347	334	369	340	345	328	9	12	11	13	9	343	367	351	358	337	26,6%	27,7%	25,7%	26,0%	25,0%	230	278	255	257	248					
2区(北海道)	560	585	584	568	547	161	139	157	134	133	2	2	5	4	3	163	179	162	138	136	29,%	30,%	27,%	24,3%	24,9%	110	94	115	93	97					
3区(東海)	4,803	4,856	4,787	4,728	4,591	1,351	1,257	1,304	1,191	1,120	85	77	75	62	76	1,436	1,526	1,379	1,253	1,196	29,%	31,4%	28,8%	26,5%	26,1%	745	751	756	768	671					
4区(関西)	5,072	5,218	5,403	5,330	5,273	1,010	985	848	782	55	48	46	50	59	1,065	1,100	944	898	841	21,0%	20,0%	17,5%	16,8%	15,9%	773	740	691	628	566						
5区(中国)	1,627	1,674	1,670	1,646	1,604	363	342	323	325	292	13	14	12	10	8	376	437	335	335	300	23,1%	26,1%	20,%	20,4%	18,7%	271	259	234	253	192					
6区(四国)	677	728	753	734	725	256	260	282	279	1	3	6	5	7	257	227	262	287	286	38,0%	31,2%	35,7%	38,1%	38,0%	190	170	222	145	157						
7区(北陸信越)	1,352	1,425	1,469	1,434	1,446	286	282	253	285	0	6	6	6	7	286	303	259	291	252	21,2%	21,3%	17,6%	20,3%	17,4%	205	211	183	206	172						
8区(九州)	2,006	2,124	2,100	2,088	2,058	582	541	484	503	458	16	18	26	24	23	598	660	510	527	481	29,8%	31,1%	24,3%	25,2%	23,4%	371	330	307	312	296					
部門	31,321	32,102	32,080	31,621	30,993	6,583	6,313	6,044	5,870	5,537	128	81	90	86	145	6,811	7,093	6,134	5,956	5,682	21,7%	22,1%	19,7%	18,8%	18,3%	754	745	597	724	482					
総統理事						30,993					5,681					0					5,681					18,3%				5,651					

(c) 勤務先別の候補者・当選者数(評議員)

地区別	勤務先別学校	当選者数 / 候補者数										当選者数 / 候補者数										当選者数 / 候補者数		当選者数 / 候補者数		当選者数 / 候補者数										
		07年	08年	09年	10年	11年	07年	08年	09年	10年	11年	07年	08年	09年	10年	11年	07年	08年	09年	10年	11年	07年	08年	09年	10年	11年	07年	08年	09年	10年	11年					
0区(A学界・官界等)	17	53	14	51	12	42	15	50	15	55	46	71	45	57	44	70	44	65	3	18	6	14	8	15	5	12	5	11	66	142	65	122	64	131		
0区(B産業界等)																																				
1区(東北)	10	13	9	12	8	11	9	11	8	11	1	2	2	2	2	2	0	0	0	1	1	0	1	1	1	1	1	14	11	14	11	14				
2区(北海道)	4	7	4	7	4	7	5	7	5	7	4	4	4	4	4	3	4	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8	11	8	11	8			
3区(東海)	9	18	10	17	9	19	10	17	8	22	16	23	14	20	16	19	15	17	0	1	1	0	1	0	0	0	0	25	42	25	38	25				
4区(関西)	14	15	13	17	13	17	14	16	13	17	15	20	16	18	16	18	16	20	17	21	0	0	0	0	0	0	0	0	29	35	29	35	30			
5区(中国)	8	11	9	12	9	13	11	12	9	14	5	5	4	4	4	4	4	4	4	0	0	0	0	0	0	0	0	13	16	13	17	18				
6区(四国)	6	8	7	8	7	9	7	9	7	9	1	1	2	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	7	9	8	10	8				
7区(北陸信越)	10	11	10	10	9	11	9	10	2	3	2	4	2	5	2	3	2	4	9	10	0	0	1	1	1	1	1	2	12	15	12	15	15			
8区(九州)	10	14	10	16	10	16	11	17	11	17	5	7	5	7	6	4	6	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	15	21	15	23	22				
部門	32	68	35	66	34	64	36	62	34	59	20	25	16	20	14	20	17	30	17	25	2	9	3	7	6	10	1	3	9	54	102	54	93	54		
計	120	218	121	216	115	209	127	211	112	214	115	161	109	139	109	140	106	158	118	154	5	28	10	22	16	28	7	18	10	23	240	407	240	377	240	387

1・3 役員会等に関する事項

理事会・所管理事会開催一覧

月別	理 事 会			所 管 理 事 会							
	回 数	出席者	議 案	庶務理事会		財務理事会		編修理事会		企画理事会	
2010. 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 2011. 1				回数	出席者	回数	出席者	回数	出席者	回数	出席者
1	23	16	1	5	1	5(2)	1	5	1	5	
1	22	5							1	4	
1	18	4	1	4	1	6(2)	1	4	1	5	
1	20	1									
1	19	7	1	4	1	4(1)	1	6	1	4	
2	21/21	5/1	1	3	1	4(2)	1	3	1	5	
			1	4							
1	22	12	1	5	1	3(0)	1	4	1	3	
			1	5							
1	22	6	1	4	1	5(2)	1	4	1	3	
1	20	2	1	4	1	3(2)	1	5	1	3	
2	22	6	1	5	1	4(1)	1	5	1	3	

* (内数は監事出席者)

1・3・1 理 事 会

表一覧に拠る。

1・3・2 評 議 員 会

1・3・3 通 常 総 会

開 催 日	会 議 事 項	会 議 の 結 果	会 場	出 席 者
2010. 4. 23	1. 第87期事業報告 2. 第87期会計報告 3. 名誉員推薦 4. 第88期事業計画 5. 第88期事業予算 6. 第88期理事・監事選出 7. 定款変更案（公益法人改革に伴う一般社団法人への移行）	いずれも原案どおり可決	明治記念館	35名 委任状提出者 146名

1・3・4 臨 時 総 会

開 催 日	会 議 事 項	会 議 の 結 果	会 場	出 席 者
2010. 12. 8	1. 定款変更修正案の件（公益法人制度改革に伴う一般社団法人への移行）	原案どおり可決	日本機械学会会議室	35名 委任状提出者 186名

1・4 許 可・認 可・承 認 に 関 す る 事 項

年 月 日	申 請 事 項	許 可 等 年 月 日	備 考
2010. 5. 20	理事ならびに資産総額変更登記		
2010. 6. 18, 12. 20	一般社団法人認可（内閣府、公益認定委員会）	2010年 6月 4日 2011年 2月 23日	
2011. 3. 1	一般社団法人へ移行登記（理事、監事）		

1・5 契 約 に 関 す る 事 項

年 月 日	相 手 方	契 約 の 概 要	() 内単位：円
2010. 4. 1	㈱三菱総合研究所 (経済産業省再委託)	平成22年度社会環境整備・産業競争力強化型規格開発事業 TC30, TC108, TC108/SC2, TC108/SC3, TC108/SC4, TC108/SC5, TC108/WG26, TC108/WG31, TC108/SC2/WG7, TC123国際規格回答原案作成委託費	(1,200,000)
2010. 5. 17	"	高性能滑り軸受に関する国際標準開発委託費	(3,000,000)
2010. 5. 17	"	人の手腕振動評価に関する国際標準開発委託費	(2,500,000)
2011. 2. 14	"	管フランジに関する国際標準開発委託費	(763,000)
2010. 4. 1	㈱日本規格協会	JIS原案作成委託費（すべり軸受制定2件）	(401,000)
2010. 12. 1	"	JIS原案作成委託費（磁気軸受制定1件）	(302,000)
2010. 4. 1	文 部 科 学 省	平成22年度科学研究費補助金「研究成果公開促進費」 第14回ロボットグランプリ	(1,400,000)
2010. 5. 29	日本技術者教育認定機構	平成22年度技術者教育プログラム認定審査業務	(12,726,000)
2010. 12. 14	関 西 電 力 他 9 社	原子力の保全高度化に係る最新動向調査	(8,925,000)

年 月 日	相 手 方	契 約 の 概 要	() 内単位:円
2010. 10. 27	原子力安全基盤機構	平成22年度新検査制度に反映すべき諸外国の安全・規制動向等 の調査・検討	(8,925,000)
2010. 4. 1	経 済 産 業 省 関 東 経 済 産 業 局	平成22年度産業技術人材育成支援事業 「産学人材育成パートナーシップ事業（学会機能を活用した実践／基礎 連動型ハイブリット講座の開発による革新的機械系実践教育）」	(17,035,000)
2010. 9. 8	科学技術振興機構	「流体力学の基礎知識コース」Web教材増補版制作	(4,978,050)

1・6 補助金・助成金等に関する事項

補助金等の名称	交 付 者	金 額	備 考
機械工学振興事業資金	個人会員 1,062名	3,483,400円	2010年度
フェロー寄付金	個人会員 383名	3,910,300円	"
日本機械学会畠山賞の助成	(財) 畠山文化財団	2,000,000円	"
2010年度年次大会	(財) 大幸財団	210,000円	"
第23回計算力学講演会	北見市	350,000円	"
第15回動力・エネルギー技術シンポジウム	早稲田大学	130,000円	"
M&M2010材料力学カンファレンス	(社) 長岡観光コンベンション協会	500,000円	"
第8回生産加工・工作機械部門講演会	(財) 岡山工学振興会	60,000円	"
第8回生産加工・工作機械部門講演会	(社) おかやま観光コンベンション協会	50,000円	"
第21回内燃機関シンポジウム	(財) 八雲環境科学振興財団	300,000円	"
第21回内燃機関シンポジウム	(社) おかやま観光コンベンション協会	100,000円	"
熱工学カンファレンス2010	(社) 長岡観光コンベンション協会	400,000円	"
第5回アジアマルチボディダイナミクス国際会議 (ACMD2010)	FUNCTIONBAY INC	500,000円	"
第13回環境修復・放射性廃棄物管理国際会議	電気事業連合会	760,000円	"
第13回環境修復・放射性廃棄物管理国際会議	日本原子力発電(株)	40,000円	"
第19回原子力工学国際会議 (ICONE19)	五洋建設(株)	100,000円	"
第19回原子力工学国際会議 (ICONE19)	東洋建設(株)	100,000円	"
第19回原子力工学国際会議 (ICONE19)	飛鳥建設(株)	100,000円	"
第19回原子力工学国際会議 (ICONE19)	日本電機工業会	62,000円	"
第19回原子力工学国際会議 (ICONE19)	前田建設工業(株)	100,000円	"
第19回原子力工学国際会議 (ICONE19)	東洋建設(株)	100,000円	"
第5回先端メカトロニクス国際会議 (ICAM2010)	(財) NSKメカトロニクス技術高度化財団	500,000円	"
第5回先端メカトロニクス国際会議 (ICAM2010)	(株) シンクチューブ	50,000円	"
第5回先端メカトロニクス国際会議 (ICAM2010)	川田工業(株)	100,000円	"
第5回先端メカトロニクス国際会議 (ICAM2010)	北陽電機(株)	50,000円	"
第5回先端メカトロニクス国際会議 (ICAM2010)	(株) レイトロン	50,000円	"
第22回電磁力関連のダイナミクスシンポジウム (SEAD22)	(財) 西日本産業貿易コンベンション協会	1,000,000円	"
第53回自動制御連合講演会	(財) 高知県観光コンベンション協会	715,000円	"
ロボティクス・メカトロニクス講演会2010 (ROBOMECH2010 in ASAHIKAWA)	北海道 上川総合振興局	500,000円	"
ロボティクス・メカトロニクス講演会2010 (ROBOMECH2010 in ASAHIKAWA)	旭川市	500,000円	"
ロボティクス・メカトロニクス講演会2010 (ROBOMECH2010 in ASAHIKAWA)	情報通信月間推進講演会	170,000円	"
ロボティクス・メカトロニクス講演会2010 (ROBOMECH2010 in ASAHIKAWA)	北海道テレコム懇談会	70,000円	"

1・7 文部科学省指示に関する事項

指 定 年 月 日	指 示 事 項	履 行 状 況
	2009年度事業報告書、収支決算報告書	2010年 6月 4日
	2010年度理事就任、資産総額変更	2010年 6月 4日

1・8 理事会処理事項

項 目	概 要
1. 部門、委員会、分科会、研究会の設置、解散	設置分科会：部門協議会関係 6, 出版センター関係 3, イノベーションセンター関係 8 設置研究会：部門協議会関係 8
2. 前会長・監事懇談会	解散分科会：部門協議会関係 4, 出版センター関係 3, イノベーションセンター関係 9
3. 名誉員候補者選考会議	解散研究会：部門協議会関係 5
4. 集会事業	2010-5-19 2010-10-6
5. 助 成	2010年度年次大会(2010.9.5~8), 機械の日, 機械週間の活動 「メカラライフの世界」展 (大学祭・高専祭などとのタイアップ行事) 機械工学振興事業資金助成 62件
6. 表 彰	2010年度日本機械学会賞 [技術功績1件, 論文16件, 技術8件] " 日本機械学会奨励賞 [研究20件, 技術18件] " 日本機械学会教育賞 [5件] 2010年度日本機械学会優秀製品賞 [5件] 2010年度日本機械学会畠山賞 [353名] " 日本機械学会三浦賞 [184名]

項 目	概 要
	" 日本機械学会標準事業表彰 [貢献賞 3 件, 國際功績賞 2 件, コードエンジニア賞 1 件] 2010 年度日本機械学会フェロー賞 (若手優秀講演) 9 4 件 " 会員増強功労表彰 5 6 件 " 機械遺産認定 6 件 " 機械状態監視資格認証試験合格 5 8 2 名 " 計算力学技術者資格認定試験合格 5 6 4 名
7. 会 員	永年会員 [2 8 1 名 (2010 年度永年会員数 3 5 4 6 名)], 帰国留学生会員 2 名, フェロー [9 4 名 (2010 年度フェロー会員数 8 7 7 名)]
8. 編修・出版	学会誌 (2011 年) の発行計画 論文集 (電子版) (2011 年) の発行計画, 英文ジャーナル (電子版) (2011 年) の発行計画, 出版物 (2011 年) の発行計画
9. 役員選挙	評議員・監事選挙及び筆頭副会長候補者選挙時の選挙管理委員委嘱
10. 対 外	他機関各賞の受賞候補者推薦 2010 年 4 月 28 日 26 学会長共同声明「科学・技術による力強い日本の構築ー我が国の科学・技術の進むべき方向と必要な政策を提言する」: 賛同表明 2010 年 7 月 30 日 29 学会会長 (43 万人会員) 緊急声明「科学・技術による力強い日本を実現するための大学・研究機関の強化と予算措置を求める」: 賛同表明 2010 年 11 月 19 日 30 学会 (39 万人会員) 会長声明 「日本国家存立の基盤となる高度人材育成と科学技術予算強化を求める」: 賛同表明
11. 事 務 局	定年職員 3 名, 採用職員 1 名, 採用 (再雇用含) 領託員 4 名

第88期理事会・評議員会議案一覧

平成 22 年度（2010 年度）

開催日	理事会（松本洋一郎会長）			開催日	評議員会*		
	議案	結果	議題		報告・その他	議案	結果
1年4月24日	1. 2010年度(第88期)理事会運営方針の件 2. 部会長及び担当理事の件 3. 入退会及び資格変更の件 4. 2010年度(第88期)第1回評議員会開催の件 5. 2010年機械遺産の件	承認 承認 承認 承認 承認	1. 法工学専門会議の今後の展開 2. 政策・財務審議会の検討事項	1. 第88期予算(第87期決算報告)について 2. 「機械の日・機械週間」進捗状況 3. ロバート大賞候補ならびに実行委員推薦依頼(経済産業省) 4. 「機械の日・機械週間」進捗状況 5. 科学技術人材育成シンポジウム 6. 機械系関連学会協会合同シンポジウム 7. JABEE(日本技術者教育認定機構)の現状報告			
2年5月19日	1. 入退会及び資格変更の件 2. 2011年度(第89期)評議員選挙定数・選舉実施方針の件 3. 船井賞規定変更の件 4. 経理事務規定ならびに経理事務規定細則一部変更の件	承認 承認 承認 承認		1. 政策・財務審議会の委員構成 2. 26学会長パネルディスカッションと共同声明について 3. 科学技術人材育成シンポジウムならびに科学技術人材育成コンソーシアム発足について 4. 日本学术会議・機械系学術会合同シンポジウム「科学・技術駆動型イノベーションに向けて:機械工学コミュニケーションの発展」 5. 機械遺産候補募集・推薦(2011年) 6. 会計システム再構築について 7. 2010年度科研費採択状況 8. 祐祉工学協議会の設立と福祉工学シンポジウムの運営方針変更提案	(報告4件)		
6月15日	1. 論文編修委員会A編メールニュース中における記事の不適切な引用についての処分案の件	承認					
2年7月14日	1. 入退会及び資格変更の件 2. 2011年度(第89期)役員選出日程の件 3. 2011年度(第89期)監事候補者選出の件 4. 選管管理委員(第89期選舉・2011年度)選出の件 5. 標準・規格センター標準事業表記規定一部変更の件 6. 表彰部会に関する規定一部変更の件 7. 日本機械学会若手優秀講演フェロー賞に関する規定一部変更の件	承認 承認 推認審議 承認 一部修正 承認 一部修正	1. 法工学専門会議の設置期限後の対応 2. 和文論文集電子化に伴う特別員向け会員サービスの提案	1. 名譽員候補者(特別功績者)推薦依頼 2. 募金提出者報告(機械振興資金寄付金、フェロー寄付金) 3. 年次大会の進捗状況 4. 機械の日記念講演会・学会賞他展示会(国立科学博物館)次回 5. 本会と経済産業省の意見交換(6月28日)報告 6. 科学技術人材育成シンポジウム 7. 日本学术会議企画シンポジウム「機械工学の展望-21世紀の役割と貢献-」 8. 一般社団法人申請 9. 事務局夏季手当支給の件 10. 今期設置委員会等委員構成			
2年8月6日	(8月6日) 1. 入退会及び資格変更の件 2. 2011年度(第89期)監事候補者選出の件 3. 名譽員候補者及び名譽員選考会議(開催・構成)の件 4. 和文論文集電子化に伴う特別員向け会員サービスの提案の件 5. 福祉工学協議会の設立の件 6. 分野横断的・新領域対応型研究活動組織に関する規定一部変更の件	承認 承認 承認 承認 承認 推認審議	(8月6日) 1. 広告掲載・並置基準案について	(8月6日) 1. 29学会会長緊急声明 2. 新定款発効に伴う准員制度廃止による会費減免措置 3. 和文論文集電子化移行について(執筆要綱改訂) 4. 年次大会(9月5日~8日)ならびに会長・支部長懇談会(9月7日)の開催 5. 国立科学博物館展示会開会式 6. 支部・部門掲載バナー広告掲載料の割引についての申し合わせ 7. 本会の情報発信のあり方について 8. 一般社団法人移行申請 9. 通常総会特別企画行事について (8月7日) 1. 各センターの現状と課題 2. 各組織の沿革と今期の活動状況			
2年8月6日	1. 入退会及び資格変更の件 2. 一般社団法人移行に伴う対応:①定款変更修正案の件、②細則変更修正案の件、③臨時税金の開催の件 3. 第2回評議員会開催・議案の件 4. 2011年度(第89期)評議員・監事選挙実施方針一部変更の件 5. 2011年度(第89期)評議員候補者の件 6. 2011年1月からの永年会員該当者の件 7. 本会の一般社団法人移行に伴う准員制度廃止による会費減免措置の件 8. 2011年度予算組成方針・日程の件 9. 日本機械学会研究協力引当預金規定一部変更の件 10. 中小企業診断協会との相互連携の件 11. 2011年度機械の日実行委員会設置の件 12. 分野横断的・新領域対応型研究活動組織に関する規定一部変更の件(政策財務審議会答申)	承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認 承認	1. 学生員から正員への維持特典実施について	1. 第88期中間収支報告 2. 2010年度年次大会報告 3. 2010年度「機械の日・機械週間」報告 4. 会長のタイ機械学会主催行事への出席について 5. 会長支部訪問について 6. 電気学会との懇談会(9月29日開催) 7. 和文論文集電子化に伴う特別員向け会員サービス 8. 卓越研究成果公開事業 9. フェロー選考の考え方 10. シンポジウム「日本のもの作りを医療へ生かす取組み」 11. 福祉工学協議会の設立 12. 物理オリンピック日本委員会NPO設立発起人への参加 13. 倫理協議会企画シンポジウム案			
2年11月10日					1. 定款変更修正の件 2. 細則変更修正の件 3. 第88期臨時総会開催の件 4. 名譽員候補者推薦の件 5. 2010年度(第88期)通常総会開催・議案の件	承認 承認 承認 承認 承認	

2 0 1 0 年 1 月 12 日	1. 会員入退会承認の件	承認		1. 通常総会・特別企画次第について 2. 理事会引継書の審議日程 3. 2010年度年次大会決算報告 4. 機械系学協会会長懇談会開催報告 5. 30学会会長声明 6. 第19回原子力工学国際会議(ICONE-19)参加者の対応について 7. 技術倫理協議会第6回シンポジウム 8. 科学技術人材育成コンソーシアム企画「第2回 科学技術人材育成シンポジウム」 9. 事務局間連事項(年末手当)について		
	2. 2011年度(第89期)新規事業予算の件	承認				
	3. 国際連携委員会規定一部変更(国際チャプター委員会の事業継承)の件	承認				
	4. 法工学専門会議の設置期間延長の件	承認				
	5. 医工学テクノロジー推進会議の設置の件	承認				
	6. 広告掲載・登載基準の件	一部修正				
2 0 1 1 年 1 月 12 日	1. 入退会及び資格変更の件	承認	1. 2011年度(第89期)事業予算原案 2. 2011年度(第89期)事業計画原案	1. 評議員・監事選挙結果報告 2. 2010年度(第88期)引継書目次案 3. 2013年度年次大会開催について 4. 日本学术会議からの会員候補者情報提供依頼 5. 一般社団法人への移行申請 6. ICONE参加への対応 7. JKA機械工業振興補助事業概況状況 8. 平成23年度科学技術関連予算について		
	2. 機械工学振興事業資金一般資金取崩しの件	承認				
	3. 2011年度(第89期)事業計画案	承認				
	4. 日本機械学会フェロー候補の件	承認				
	5. 日本機械学会賞受賞候補の件	承認				
	6. 優秀製品賞選出の件	一部修正				
2 0 1 2 年 2 月 19 日	7. 学生員増強労働者表彰の件	承認				
	8. 日本機械学会標準事業表彰の件	承認				
	9. 日本機械学会若手優秀講演フェロー賞に関する規定一部変更の件	承認				
	10. 第3回評議員会の開催・議案の件	承認				
	11. 一般社団法人移行による対応の件(関係規定読み替え)	承認				
	12. WEC2015(世界技術者会議)への協力要請に対する対応の件	承認				
2 0 1 3 年 3 月 29 日	13. 常勤理事ならびにセンター長ほか人事の件	承認				
	1. 入退会・除名及び資格変更の件	承認	1. 東日本大地震への対応(理事会緊急タスクフォースの設置)	1. 2010年度(第88期)通常総会(2011年4月21日)の進行	1. 2010年度(第88期)事業報告案の件	承認
	2. 2010年度(第88期)事業報告の件	承認	2. 2011年度年次大会開催について	2. 地震等の災害時における本会応急対処方針	2. 2010年度(第88期)会計報告案の件	承認
	3. 2010年度(第88期)会計報告の件	承認		3. 東日本大震災への海外関係団体からのメッセージなど	3. 2011年度(第89期)事業計画案の件	承認
	4. 2011年度(第89期)理事・監事候補者の件	承認		4. 受託事業終了括帳報告	4. 2011年度(第89期)事業予算案の件	承認
	5. 2010年度(第88期)理事会引継ぎの件	承認		5. 2011年度機械の日・機械週間記念行事案	5. 2011年度(第89期)理事・監事候補者選出の件	承認
	6. 会員の不正行為の調査・審理に関する規則ならびに会員の不正行為による会員処分に関する規則一部変更の件	承認		6. 一般社団法人への移行	6. 日本機械学会フェロー選出の件	承認
	7. フェロー推奨基準及び選考方法に関する内規一部変更の件	一部修正		7. 本会ホームページ改修案について	*	
	8. マイクロ・ナノ工学部門設立の件	承認			7. 2010年度日本機械学会賞受賞者選出の件	承認
	9. 国際連携委員会規定一部変更の件	承認				

* 2011年3月29日開催の「評議員会」は一般社団法人に移行したため「代表会員会」として開催

1・9 会員数

2010年度(第88期)における入退会・資格変更等

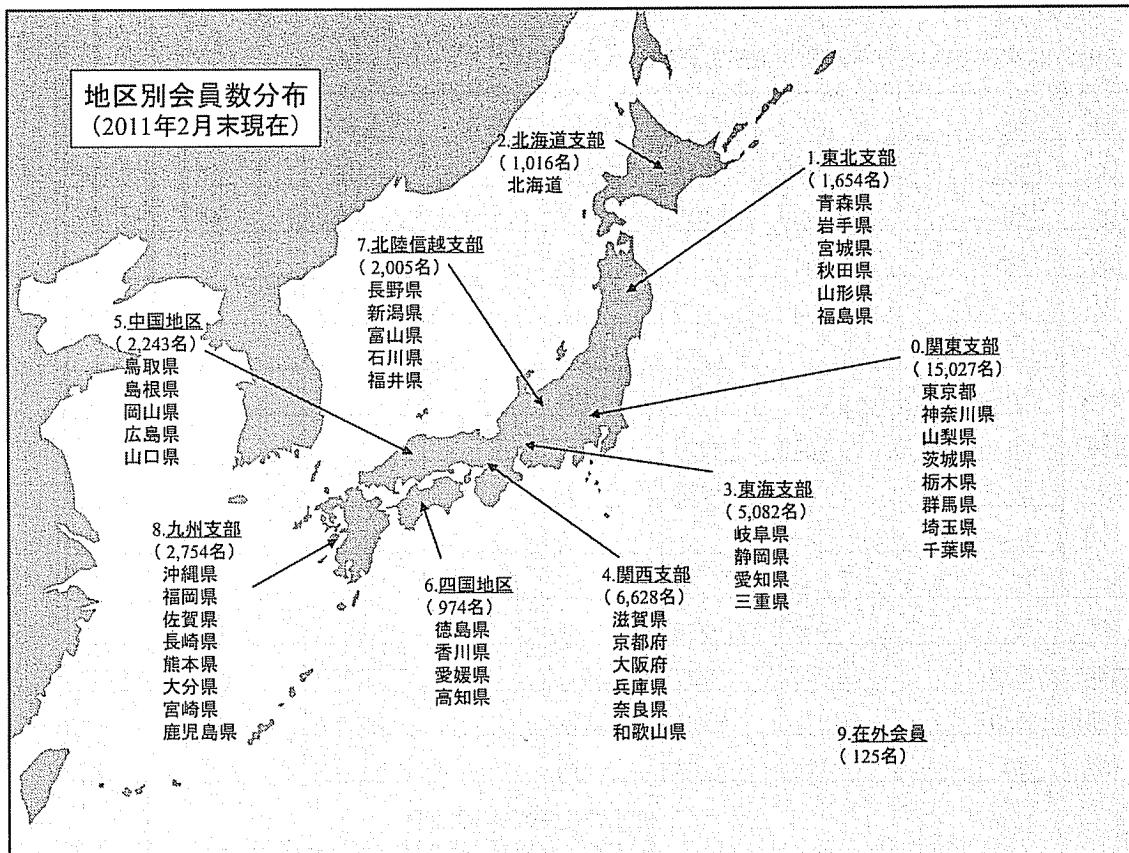
摘要		正員	准員	学生員	会友	個人会員	特別員	総合計
入会		813	19	3,069	0	3,901	15	3,916
退会		-1,778	-395	-564	-2	-2,739	-46	-2,785
復活		60	1	12	0	73	1	74
死亡		-133	0	-1	0	-134		-134
資格 変更	学 → 准		1,294	-1,294				
	学 → 正	1,271		-1,271				
	准 → 正	320	-320					
	准 → 学		-263	263				
	正 → 学	-7		7				
	正 → 准	0	0					
除名		-714	-250	-53	0	-1,017	-3	-1,020
前期末会員数		30,440	1,237	5,011	12	36,700	757	37,457
今期末会員数		30,272	1,323	5,179	10	36,784	724	37,508
増減		-168	86	168	-2	84	-33	51

参考:女性会員等の登録数

女性会員:631名 外国籍会員:556名 ジュニア会友:616名

2010年度(第88期)における月別入退会者数

	入会						退会					
	正員	准員	学生員	会友	特別員	合計	正員	准員	学生員	会友	特別員	合計
2010年3月	56	1	165	0	1	223	-50	-16	-112	0	0	-178
4月	92	3	130	0	4	229	-30	-6	-14	0	-1	-51
5月	58	2	177	0	0	237	-20	-4	-2	0	0	-26
6月	55	1	127	0	2	185	-23	-7	-1	0	0	-31
7月	75	2	167	0	1	245	-10	-5	0	0	0	-15
8月	88	4	127	0	2	221	-22	-5	0	0	0	-27
9月	60	1	85	0	3	149	-26	-3	-2	0	0	-31
10月	66	1	126	0	0	193	-26	-5	-3	0	0	-34
11月	71	0	431	0	0	502	-106	-36	-19	0	-1	-162
12月	60	2	644	0	1	707	-1,392	-288	-384	-2	-43	-2,109
2011年1月	76	0	577	0	0	653	-56	-19	-26	0	-1	-102
2月	56	2	313	0	1	372	-17	-1	-1	0	0	-19
合計	813	19	3,069	0	15	3,916	-1,778	-395	-564	-2	-46	-2,785
月平均入退会	68	2	256	0	1	326	-148	-33	-47	0	-4	-232



地区別・資格別会員数

	0区(関東)	1区(東北)	2区(北海道)	3区(東海)	4区(関西)	5区(中国)
正員	13,182	1,292	534	4,451	5,103	1,542
准員	281	74	89	113	257	141
学生員	1,181	267	381	431	1,156	527
会友	9	0	0	1	0	0
個人計	14,653	1,633	1,004	4,996	6,516	2,210
特別員	374	21	12	86	112	33
総合計	15,027	1,654	1,016	5,082	6,628	2,243

	6区(四国)	7区(北信)	8区(九州)	在外会員		総合計
正員	698	1,369	1,977	124		30,272
准員	61	130	177	0		1,323
学生員	206	470	560	0		5,179
会友	0	0	0	0		10
個人計	965	1,969	2,714	124		36,784
特別員	9	36	40	1		724
総合計	974	2,005	2,754	125		37,508

部門登録者数

部門名	第1位	第2位	第3位	第1~3位合計	第4位	第5位	第1~5位合計
計算力学	1,895	1,739	1,643	5,277	467	296	6,040
バイオエンジニアリング	890	580	602	2,072	296	203	2,571
材料力学	2,668	1,738	1,025	5,431	299	175	5,905
機械材料・材料加工	1,465	1,778	1,270	4,513	346	250	5,109
流体工学	3,289	1,936	1,320	6,545	351	247	7,143
熱工学	2,325	2,082	1,348	5,755	345	201	6,301
エンジンシステム	1,370	719	566	2,655	241	146	3,042
動力エネルギー・システム	1,239	1,683	1,523	4,445	447	229	5,121
環境工学	674	1,147	1,505	3,326	523	404	4,253
機械力学・計測制御	2,361	2,071	1,687	6,119	480	347	6,946
機素潤滑設計	1,168	878	714	2,760	202	154	3,116
設計工学・システム	828	1,262	1,460	3,550	472	401	4,423
生産加工・工作機械	1,256	1,015	828	3,099	318	244	3,661
生産システム	521	841	712	2,074	207	204	2,485
ロボティクス・メカトロニクス	1,688	1,621	1,473	4,782	354	300	5,436
情報・知能・精密機器	738	1,077	1,469	3,284	384	369	4,037
産業・化学機械と安全	423	465	624	1,512	184	213	1,909
交通・物流	1,172	794	992	2,958	225	248	3,431
宇宙工学	358	419	801	1,578	238	325	2,141
技術と社会	331	468	1,104	1,903	277	545	2,725
合計	26,659	24,313	22,666	73,638	6,656	5,501	85,795

会員数(2011年2月末日)

正員	30,272 名
准員	1,323 名
合計	31,595 名

第1位登録者数	26,659 名
第1位登録率	84.4 %

専門会議名登録者数

専門会議名	登録数
法工学	687
マイクロ・ナノ工学	671
スポーツ＆ヒューマンダイナミクス	261
合計	1619

1・10 法人運営に関する件

1・10・1 政策・財務審議会

政策・財務審議会：議長 佐藤順一筆頭副会長、副議長 金子成彦財務理事) 他13名、開催3回

今期審議を行った事項は次のとおりである。

1. 専門会議の設置期間延長と今後の対応
 - (1) 分野横断的・新領域対応型研究活動組織に関する規定一部変更(答申提出)
 - (2) 法工学専門会議への対応について
2. 特別員(企業会員)ならびに企業所属研究者・技術者(個人会員)への取組み(答申提出)
3. その他

1・10・2 会員部会

部会長 成田吉弘 他20名、開催3回

1. 前年度決定した全国学生研修会に代わる事業として学会魅力度向上策にて検討された学生交流会を年次大会において開催し、178名(学生142名、技術者・委員等36名)が参加した。
2. 昨年度学会魅力度向上策として理事会より依頼のあった下記について検討を行った。
 - ・「学生員から正員への継続特典」2011年3月に卒業、修了する学生員で正員となり就職する会員へ会長からのお祝い状とともに本会出版物を贈呈することを理事会上呈した。
 - ・「JSME Open College」について、会員部会での検討状況を理事会へ報告することとした。
3. 部門における若手企画に対する支援活動について、成田部会長より提案があり、2011年度試行として若手会員のためもしくは若手会員が中心となる企画に対して部門への支援補助を理事会へ提案した。
5. 2011年度年次大会における学生交流会開催を決定し、実行委員会を組織した。委員長 進士忠彦 他5名。
4. 申請のあった学生員増強功労者表彰対象56件を理事会へ推薦した。

学生員委員会：委員長 進士忠彦 他8名、開催1回

1. 年次大会においての学生交流会開催に協力した。
2. 上記交流会期間中(9/7)に、委員長校会を開催し、各支部学生会委員長より意見聴取をした。
3. 次期の担当委員を確認し、第89期学生員委員会委員長を、現白濱幹事(北海道支部)、次期幹事を関西地区委員とした。
4. 学生会会員校連絡員への記念品贈呈について、検討の結果廃止とする旨理事会へ上程した。
5. 各学生会の機関誌を発行した。
6. 「メカラライフの世界」展の開催に協力した。

Ladies' Association of JSME：委員長 金子暁子 他11名
開催3回

1. 2010年度の事業として「LAJ出前授業」を2010年6月16日日本大学豊山女子中学校・高等学校(参加者32名)、2010年7月15日静岡雙葉中学校・高等学校(参加者33名)、2010年10月4日カリタス女子中学校・高等学校(参加者18名)計3回開催した。
2. 学生交流会に一部協力した。
3. 一般公募により、女性委員を募った。
4. 2011年度事業企画について審議した。

1・10・3 表彰部会

表彰部会：部会長 白鳥正樹 他16名、開催3回

1. 日本機械学会賞(2010年度)募集要項を決定した。
2. 日本機械学会賞委員会委員を理事会に推薦した。
3. 日本機械学会賞(2010年度)の贈賞候補として学会賞委員会から推薦のあった日本機械学会賞(技術功績)1件、同(論文)16件、同(技術)8件、日本機械学会奨励賞(研究)20件、同(技術)18件、日本機械学会教育賞5件を理事会へ推薦した。
4. 日本機械学会畠山賞(2010年度)受賞者として353名を理事会へ推薦した。
5. 日本機械学会三浦賞(2010年度)受賞者として184名を理事会へ推薦した。
6. 日本機械学会フェロー賞88件の報告を確認した。
7. 日本機械学会優秀製品賞 第6回(2010年度)の贈賞候

補として5件を理事会へ推薦した。

8. 他機関からの受賞候補推薦について選考を行った。

9. 日本機械学会賞(2011年度)募集要項を決定した。

日本機械学会賞委員会：委員長 勝田正文 他87名、開催2回、グループ会議10回

日本機械学会賞(2010度)贈賞候補として技術功績1件、論文16件、技術8件、日本機械学会奨励賞(研究)20件、技術18件、日本機械学会教育賞5件を表彰部会に推薦した。

日本機械学会優秀製品賞選考委員会(2010年度)：委員長 神田雄一、他4名、開催2回。

日本機械学会優秀製品賞の選定、審査を行い日本機械学会優秀製品賞5件を選考し、表彰部会へ推薦を行った。

1・10・4 広報・情報部会

部会長 鈴木真二 他15名、開催3回

1. 広報活動に関する事業

- ・本会理事によるWebコラム欄ーJSME談話室「き・か・い」一計11件をWebに掲載した。
- ・本会論文集の論文について、著者が掲載を希望するものを『みみより技術情報』に順次公開した。(2011年2月現在B編: 2件、C編: 1件)
- ・本会に関するプレスリリースを7件おこなった。
- ・各種最新情報を本会ホームページに掲載した。
- ・「機械の日・機械週間」の広報活動のバックアップを行った。
- ・学会PR用インタビュー企画をWEBに2回掲載した。

2. 情報基盤に関する事業

- ・IT業務統合化システム第4フェーズとして特別員D BのWE Bサーバへの移行を行った。
- ・支部部門用新インフォメーションメール配信システムの構築と運用を開始した。
- ・2011年和文論文集WE B化に伴う協力支援を行った。
- ・Windows7対応ならびに新会計システム移行に伴うネットワーク管理サーバの置換を行った。
- ・安全な情報管理を行うため事務局内ネットワーク環境の改善として、ファイアウォールの置換ならびにネットワーク管理機器(VLAN)の設定変更を行った。
- ・本会トップページへのバナー広告の掲載。(2011年2月現在1社)
- 3. WEB編修WGを設置し、今後の本会HPのあり方を検討し、法人移行や一般向けへのアピールも考えトップページの改修準備を行った。

1・10・5 支部・部門活性化委員会

委員長 森下 信 他10名 開催3回

理事会直下の委員会として以下の活動を行った。

1. 2010年度部門活動実績報告書の作成を各部門に依頼した。
2. 2011年度に実施される部門活動評価に関し、基本方針を審議し、各部門に提示した。
3. 「医工学テクノロジー推進会議」設置(2011.4~2016.3)の申請を承認することとし、その結果を理事会に上申した。
4. 「法工学専門会議」からの設置期間延長(2011.4~2014.3)の申請を承認することとし、その結果を理事会に上申した。
5. 「マイクロ・ナノ工学専門会議」からの部門化の申請に対し、部門協議会に参考意見を求め、これを承認することとし、その結果を理事会に上申した。
6. 2016年度に実施される部門活動評価に関し、評価方法等の検討をした。

1・10・6 技術倫理委員会

委員長 堤 正臣 他11名 開催5回(1)

1. 「会員の不正行為の調査・審理に関する規則」ならびに「会員の不正行為による会員処分に関する規則」の検討(一部変更案作成)
2. 会員の行動規範の検討
3. 2010年度年次大会(名工大)の年次大会ワークショップ「異分野連携で問われる技術倫理」を実施
4. 2011年度年次大会ワークショップの企画
5. 技術者の倫理教育への取組み検討

6. 技術倫理委員会のWebページについて
 7. その他（会員からの技術倫理委員会への申し立てについてなど）

1・10・7 フェロー選考委員会

委員長 佐藤 順一 他11名 開催1回

フェロー候補者の公募、選定、審査を行い、94名の候補者を理事会を経て評議員会に推薦を行った。

1・10・8 各種会議開催

(審議会・部会・部門・専門会議・センター・委員会・分科会・研究会)

種 別	設置数	開催回数
政策・財務審議会	1	3
支部協議会	1	2
部門協議会	1	3
部門	20	61
専門会議	3	11
分科会	17	43
研究会	98	250
イノベーションセンター		
運営・企画委員会	1	3
技術者教育委員会	1	2
人材活躍・中小企業支援事業委員会	1	3
JABEE事業委員会	1	2
技術者資格事業委員会	1	2
機械状態監視資格認証専門委員会	1	6
計算力学技術者資格認定専門委員会	1	4
研究協力事業委員会	1	3
技術ロードマップ委員会	1	3
研究協力事業委員会所属分科会(RC、RC-D等)	20	58
研究協力事業委員会所属分科会(RS)	2	
標準・規格センター		
運営・企画委員会	1	4
標準事業委員会	1	3
発電用設備規格委員会	1	4
専門委員会	4	18
会誌編修部会	1	4
メカライト編修委員会	1	4
論文編修部会		
論文編修委員会	1	6
和文論文集電子化実行委員会	1	1
英文ジャーナル連絡会議	1	3
出版センター	1	4
分科会	13	13
会員部会		
学生員委員会	1	3
Ladies' Association of JSME	1	1
1		3
表彰部会	1	3
学会賞委員会	1	12
船井賞選考委員会	1	1
優秀製品賞選考委員会	1	3
広報・情報部会	1	3
支部・部門活性化委員会	1	3
技術倫理委員会	1	5
国際連携委員会	1	4
国際チャプター運営委員会	1	5
臨時委員会(理事会所属)・WG		
「機械の日」実行委員会	2	4
機械遺産監修委員会	1	1
フェロー選考委員会	1	1

2. 公益目的支出計画に係る事項

2・1 機械の日・機械週間、機械遺産

1) 2010年度「機械の日」実行委員会

実行委員長 岩渕 明 他13名 開催4回

1. 2009年10月に発足した上記実行委員会を開催した。

2. 2010年8月7日(土)に、トヨタテクノミュージアム産業技術記念館において、記念講演(3件)、機械遺産認定表彰(6件)、作文コンテスト表彰(2件)等を実施した。また、新聞各誌に「機械の日」の広告を行った。

3. 実行委員会として、2010年8月7日当日の司会、挨拶等の進行・運営を行った。

4. 支部・部門により全国で140件が企画・開催され、約60,000名が参加した。

5. マスコミにより報道された新聞・テレビの掲載は60件に達した。

2) 2011年度「機械の日」実行委員会

実行委員会：委員長 久保司郎他15名 開催2回

1. 2010年10月、5つの協賛学協会より委員を推薦頂き、上記実行委員会設置が理事会で承認され発足した。

2. 2011年度「機械の日」記念行事の検討をし、2011年8月6日(土)、7日(日)に大阪科学技術センターに於いて、記念講演、機械遺産認定表彰、絵画コンテスト表彰、懇親会等を行うこととした。

3) 機械遺産監修委員会

監修委員会：委員長 三輪修三 他5名 開催1回

2010年度認定候補6件を監修、承認した。

2・2 2010年度年次大会

行 事	開 催 日	会 場	参 加 者 数
研究発表(1339題)	2010.9.6~8	名古屋工業大学	2782
付随行事			
特別講演(2件：戸田信雄、麓 和善)	2010.9.7	名古屋工業大学	
特別企画(2件)	2010.9.6	名古屋工業大学	
市民フォーラム(7テーマ)	2010.9.5~8	名古屋工業大学	
先端技術フォーラム(10テーマ)	2010.9.6~8	名古屋工業大学	
ワークショップ(24テーマ)	2010.9.6~8	名古屋工業大学	
基調講演(19件)	2010.9.6~8	名古屋工業大学	
機器・カタログ展示、JSMEブックフェア	2010.9.6~8	名古屋工業大学	
部門同好会(15部門、1専門会議)	2010.9.6	名古屋ビール園 浩養園	335
懇親会	2010.9.7	ホテルグランコート名古屋	220

2・3 「機械工学振興事業資金」助成事業

2・3・1 「メカライフの世界」展(2010年度「機械工学振興事業資金」助成行事)

申請組織	開 催 日	行 事 名	会 場	参 加 人 数
北海道支部	2010.6.5	メカライフの世界展	北海道大学	150
	2010.10.23, 24	ものづくり実験工房 一機械を体感してみよう	釧路工業高等専門学校	600
東北支部	2010.7.24, 25	体験メカトニクス	一関工業高等専門学校	200
	2010.10.30, 31			
	2010.8.1	「メカライフの世界」展	鶴岡工業高等専門学校	1,100
	2010.8.6, 7	まわってまわって機械工学科を知ろう	八戸工業高等専門学校	560
	2010.10.23, 24	2010 イーハート・サイエンスワールド「メカライフの世界」展	岩手大学	300
	2010.10.23, 24	楽しいメカワールド	いわき明星大学	250
	2010.10.30, 31	スターリングエンジンをつくって知る「エネルギーとは何か?」	仙台高等専門学校	200
関東支部	2010.8.6, 7	社会に貢献する機械工学—「ものづくり」への招待—	横浜国立大学	592
	2010.8.22, 23			
	2010.10.30, 31	体験しよう夢いっぱい機械工学の世界	東京工業高等専門学校	1,278
	2010.10.16, 17	わくわくどきどき、メカニカル! 2010	群馬大学	1,998
	2010.10.21, 22	流れのふしぎ出張理科教室	厚木市立南毛利小学校 厚木市立毛利台小学校 神奈川工科大学	535
	2010.11.6, 7			
	2010.10.23, 24	メカの世界 2010	東京工業大学	1,900
	2010.10.31	食べられないが、強くて硬いサンドイッチを作ろう!	日本大学	48
	2010.11.3, 13, 14	電通大・ロボメカパビリオン 2010～ゲゲゲの妖怪ロボコン	電気通信大学	600
	2010.11.21, 22			
	2010.11.6, 7	作って楽しもう! メカライフ 2010!	木更津工業高等専門学校	175
東海支部	2010.8.3	機械工学が作り出す世界	三重大学	500
	2010.9.4	こんなところに機械工学	岐阜工業高等専門学校	250
	2010.10.2, 3	全日本学生フォーミュラ大会参戦! ~学生による熟き挑戦	豊橋技術科学大学	250
	2010.10.9, 10	教育・研究設備の展示、自作ロボットおよびスターリングエンジンの公開・実演	豊田工業高等専門学校	650
	2010.10.9, 10	学生フォーミュラカーと形状記憶合金熱エンジンの展示と実演	愛知工業大学	83
	2010.10.17	飛行機の飛ぶわけを知ろう	愛知工科大学自動車短期大学 愛知工科大学	57
	2010.10.23, 24	機械工学科における創造工学展	鈴鹿工業高等専門学校	800

申請組織	開催日	行事名	会場	参加人数
	2010.10.30, 31	つかみはOK！ロボット展	中部大学	320
	2010.11.6, 7	コンピュータを組み込んだ機械	沼津工業高等専門学校	200
関西支部	2010.11.20, 21	「メカラифの世界」展	神戸市立青少年科学館	703
中国四国支部	2010.6.27	モデルロケットを作つて飛ばそう！！	出雲市科学館	12
	2010.8.19, 11.13	地球環境にやさしいスターリングエンジン・スターリングクーラーの体験授業	米子工業高等専門学校	550
	2010.8.30, 9.22	魚ロボットの製作および競技	吳工業高等専門学校 江田島市立大柿中学校	62
	2010.8月, 9月, 11月	ものづくり工房 in 高知高専 2010	高知工業高等専門学校	150
	2010.10.9, 10	ミニアニマルロボットを作ろう	松江工業高等専門学校	50
	2010.10.9, 10	海洋・水産に関わる機械工学	水産大学校	100
	2010.11.13, 14	オープソメカ&ロボット	吳工業高等専門学校	150
北陸信越支部	2010.7.3	ロボットに触れよう	長野工業高等専門学校	120
	2010.8.5, 6	鳥人間滑空機と機械工学	金沢大学	88
	2010.10.2	擬似科学をあばくームベンパ効果の実験的検証からー	富山大学	136
	2010.10.15~17	サイエンスフェア'10	福井工業高等専門学校	120
	2010.11.20	風力発電機を作ろう！	新潟工科大学	80
九州支部	2010.8.6	メカワールド 2010 in Kagoshima University	鹿児島大学	80
	2010.8.11	機械にふれてみよう	佐賀大学	65
	2010.9.23	「メカラифの世界」展 ようこそメカワールドへ	都城工業高等専門学校	510
	2010.10.19, 20	オープソキャンパス ~機械を操るインターフェイス技術に触れてみよう~	北九州工業高等専門学校	500
	2010.10.24	KSU ロボットプログラミングコンテスト「第4回秋のロボット運動会」	九州産業大学	60
	2010.10.30	鹿児島高専 文化祭 機械工学科の展示テーマ“水素で動くクルマ”	鹿児島工業高等専門学校	200
	2010.10.30	夢科学探検 2010	熊本大学	400
	2010.10.31	ロボットと遊ぼう	大分大学	413
	2010.11.3, 14	メカトピア 2010	久留米工業高等専門学校内	100
	2010.11.4~6	日本機械学会九州学生会『メカラифの世界』展	福岡大学	150
	2010.11.7	ペイブレードをカスタマイズしよう！	佐世保工業高等専門学校	100
	2010.11.20, 21	サイエンスワールド 2010～メカラифの世界～	九州大学	1,343
	2010.11.20, 21	工大祭“メカニクスピ”～Mechani-Expo2010～	九州工業大学	200
	2010.11.21	メカラифの世界展	宮崎大学	150
	2011.2.19	「メカラифの世界」展 ～ロボメカ・パークとエコシップ・コンテスト～	長崎大学	—
合計	53 件			20,178 人

2・3・2 その他（2010年度「機械工学振興事業資金」助成行事）

申請組織	開催日	行事名	会場	参加人数
関東支部	2010.8.3~15	夏休みサイエンススクエア 2010「おもしろメカニカルワールド」	国立科学博物館	2,369
関東支部 神奈川ブロック	2010.8.5, 6	小中学生工作教室(スターリングエンジン製作)	神奈川大学 横須賀市自然・人文博物館	61
関東支部 東京ブロック	2010.8.9, 10	小中学生のための夏休みメカ教室「ロボットを作つて動く仕組みを考えよう！」	日本科学未来館	200
関東支部 群馬ブロック	2010.11.13	平成 22 年度 第 17 回 小中高校生向けイベント メカメカフェア 2010	群馬大学	1,764
東海支部	2010.3.15~2010.11.12	会員シニア層と中小企業との交流事業	刈谷市産業振興センター	50
	2010.8.6	小・中学生のためのハイテクイベント	産業技術記念館	89
関西支部	2010.8.21, 22	親と子の理科工作教室	神戸市総合教育センター	300
九州支部	2010.8.7 2010.10.30 2010.11.6	おもしろメカニカルワールド	長崎大学, 佐賀大学, 熊本大学	472
流体工学部門	2010.8.14, 15 2010.10.30	第 16 回流れのふしぎ展 第 10 回流れの夢コンテスト	日本科学未来館 山形大学	4,300 100
動力エネルギーシステム部門	2010.8.5 2010.11.6	「機械の日」動力エネルギーに関する親子見学会 動力エネルギーシステム部門設立 20 周年記念国際シンポジウム 地球環境保全のために動力とエネルギーの供給から見た機械工学の果たすべき役割-	JAXA 筑波宇宙センター 関西大学東京センター	68 130
環境工学部門	2010.8.21, 28	講習会: 手作りで音を楽しもう - 環境にやさしい夏休み親子向けイベント-	東芝科学館 神戸製鋼所灘浜サイエンススクエア	88
ロボティクス・メカトロニクス部門	2010.3.27~28	第 13 回ロボットグランプリ	科学技術館	2,000
宇宙工学部門	2010.12.22	実践セミナー「宇宙機器の機械設計」	静岡大学	55
技術と社会部門	2010.10.24 2010.6.19, 20 2010.7.25 2010.10.16	「エネルギー利用」技術作品コンテストへの支援 第 22 回知能ロボットコンテスト 夏休みキッズ科学技術セミナー 第 10 回ロボット・トライアスロン記念大会	仙台市宮城教育大学 仙台市科学館 北海道工業大学 サッポロファクトリーアトリウム	623 件 3,900 25 140
合計	19 件			16,111 人

2・4 國際連携委員会

委員長 菅田公一 他 6名, 開催 4回

1. JSME News Vol. 21, No. 1 (Recent Activities of Division of Manufacturing and Machine Tool, 2010年6月) の編修, 発行をした。また, Vol. 21, No. 2 (エネルギー技術の最先端, 2011年3月発行予定) の編修を行い, Vol. 22 No. 1 (2011年6月発行予定) の編集担当者を決定し, Webでの見やすさを検討 (1段組フォーマット, XML化, 印刷ボタンの付加等) した。
2. これまで中国机械工程学会, 大韓機械学会, インドネシア工学会, 日本機械学会で共同編集していたE-mail Newsletter "Engineering News in Brief" の発行を, 各国からの原稿が集まらないため, 今期より廃止することとした。
3. 國際チャプター運営委員会の設置期間満了に伴い, その事業を本委員会が引き継ぐこととし, 國際連携委員会規定等の一部変更案を理事会へ上申した。
4. パキスタン機械学会設立の連絡を受け, 松本会長より祝辞を送った。
5. 本会の英文HPを確認し, アジアを中心とした諸外国の機械系ポータルサイトとなるよう修正案の検討を行った。また, 本件に関し, タスクグループを設置することとした。
6. 海外協力協定団体との協定内容の見直しに関して審議を行った。
7. 國際会議における著作権の取り扱いに関して, 他団体の動向を調査した。

國際チャプター運営委員会 : 委員長 小尾晋之介 他 8名, 開催 5回

1. 本委員会の任期満了に伴い, その事業を國際連携委員会に引き継ぐこととし, 國際連携委員会規定等の一部変更案を提案した。
2. タイ機械学会 (TSME) からの本会への協力協定締結の打診に対し, その可能性を審議した。
3. 2011年度年次大会 (東京工業大学) において留学生交流のための行事を企画することとし, 内容および予算等を審議した。
4. 2010年7月16日にタイのタマサート大学において開催されたタイ機械学会 (TSME) との会合に, 國際チャプター・タイセクション担当の花村委員および東京工業大学の伏信准教授が出席し, 本会とタイ機械学会との連携の可能性について会談を行った。
5. 2010年7月23日の第3回委員会の席上, インドネシアのバンドン工科大学から来会された, Prof. Dr. Ir. Ichsan S. Putra氏と懇談し, JABEEの認定, AUN/SEED-Netにおける活動などについて情報交換を行った。
6. 2010年10月20日～22日に, the 1st International Conference on Mechanical Engineering (TSMB-ICoME) が開催され, 松本会長, 大熊教授, 花村委員が派遣された。松本会長にはオープニングセレモニーにて開催の祝辞を述べて頂き, 大熊教授には振動モードの簡易測定手法について基調講演をして頂いた。

2・5 定期刊行物(論文集, 電子出版論文集, 英文ジャーナル)

(a) 日本機械学会論文集

今期に発行した論文集 A 編, B 編, C 編は第 763 号(2010 年 3 月)～774 号(2011 年 2 月)の合計 36 号で, そのうち次のテーマの特集号及び小特集号を発行した。

- 1) 2010 年 3 月号 B 編, 76 卷, 763 号「第 14 回動力・エネルギー技術シンポジウム」動力エネルギーシステム部門
- 2) 2010 年 4 月号 B 編, 76 卷, 764 号「M&M2009 材料力学カンファレンス(小特集)」材料力学部門
- 3) 2010 年 5 月号 B 編, 76 卷, 765 号「マルチフィジックス CFD/EFD の最前線(小特集)」流体力学部門

- 4) 2010 年 5 月号 C 編, 76 卷, 765 号「D&D2009」機械力学・計測制御部門
- 5) 2010 年 6 月号 A 編, 76 卷, 766 号「M&P2009 機械材料・材料加工部門技術講演会(小特集)」機械材料・材料加工部門
- 6) 2010 年 7 月号 A 編, 76 卷, 767 号「ガスタービン用遮熱/耐環境コーティング技術(小特集)」
- 7) 2010 年 8 月号 C 編, 76 卷, 768 号「第 1 回マイクロ・ナノ工学シンポジウム(小特集)」マイクロ・ナノ工学専門会議, 情報・知能・精密機器部門
- 8) 2010 年 10 月号 C 編, 76 卷, 770 号「TRANSLOG2009/J-RAIL2009(小特集)」交通・物流部門
- 9) 2010 年 11 月号 C 編, 76 卷, 771 号「第 19 回設計工学・システム部門講演会(小特集)」設計工学・システム部門
- 10) 2010 年 12 月号 C 編, 76 卷, 772 号「生産システム部門研究発表講演会 2010(小特集)」生産システム部門

なお, 2011 年からは電子版となり, (独)科学技術振興機構 (JST) のホームページ (J-STAGE) 上に毎月 25 日に登載し, 閲覧無料で公開している。

詳細は表 1 参照。

(b) 英文ジャーナル(電子版)

今期に登載した部門独自の編集・運営による英文ジャーナル(電子版)は, 合計 11 誌である。そのうちつぎのテーマの特集号を発行した。

- 1) JFST Vol. 6(2011), No. 1 : 2nd International Workshops on Advances in Computational Mechanics -Advanced Turbulent Flow Simulation-
- 2) JBSE Vol. 5(2010), No. 1 : 4th Asian Pacific Conference on Biomechanics II
- 3) JBSE Vol. 5(2010), No. 3 : Micro and Nanobiotechnology for Cells
- 4) JBSE Vol. 5(2010), No. 4 : Biomechanics in Cardiovascular Systems
- 5) JBSE Vol. 5(2010), No. 5 : Biomechanical Modeling and Computer Simulation for Medical Application
- 6) JSMME Vol. 4(2010), No. 3 : M&M2009
- 7) JSMME Vol. 4(2010), No. 6 : APCMM2009 I
- 8) JSMME Vol. 4(2010), No. 7 : APCMM2009 II
- 9) JSMME Vol. 4(2010), No. 8 : APCMM2009 III
- 10) JSMME Vol. 4(2010), No. 11 : Outstanding Researches by Promising Young Researchers in Mechanics and Materials Division [from outstanding papers in 2010 M&M international symposium for young researchers]
- 11) JSDD Vol. 4(2010), No. 6 : D&D2009
- 12) JAMDSM Vol. 4(2010), No. 3 : Advanced Production Scheduling
- 13) JAMDSM Vol. 4(2010), No. 5 : Advanced Manufacturing Technology (LEM21)
- 14) JPES Vol. 5(2011), No. 1 : 18th International Conference on Nuclear Engineering
- 15) JCST Vol. 4(2010), No. 2 : Computational Mechanics Conference 2009 - JCST (Journal of Computational Science and Technology International Forum)

なお, これらの英文ジャーナルは, (独) 科学技術振興機構 (JST) のホームページ (J-STAGE) 上に随時登載し, 閲覧無料で公開している。

詳細は表 2 参照。

表1 日本機械学会論文集

巻一号 年月	編	巻頭言 研究随想 研究展望		論文		技術論文		ノート		誌上討論		目次 広告 等	総ページ		総ページ	
		頁数	編数	頁数	編数	頁数	編数	頁数	編数	頁数	編数		頁数	編数	頁数	編数
76 - 763 2010年 3月	A	0	0	104	14	0	0	0	0	0	0	8	112	14	594	106
	B	1	1	0	0	0	0	144	52	0	0	13	158	53		
	C	0	0	315	39	0	0	0	0	0	0	9	324	39		
76 - 764 2010年 4月	A	1	1	89	11	0	0	85	29	0	0	11	186	41	640	95
	B	9	1	187	23	0	0	0	0	0	0	10	206	24		
	C	0	0	217	28	15	2	0	0	0	0	16	248	30		
76 - 765 2010年 5月	A	0	0	104	14	0	0	3	1	0	0	9	116	15	722	94
	B	22	4	197	26	0	0	0	0	0	0	11	230	30		
	C	11	2	342	45	14	2	0	0	0	0	9	376	49		
76 - 766 2010年 6月	A	1	1	61	8	0	0	67	26	0	0	11	140	35	488	79
	B	0	0	77	10	0	0	0	0	0	0	7	84	10		
	C	3	1	218	28	31	4	3	1	0	0	9	264	34		
76 - 767 2010年 7月	A	11	2	208	27	0	0	3	1	0	0	12	234	30	588	74
	B	0	0	99	13	8	1	0	0	0	0	9	116	14		
	C	0	0	216	28	13	2	0	0	0	0	9	238	30		
76 - 768 2010年 8月	A	0	0	119	15	0	0	0	0	0	0	9	128	15	644	94
	B	0	0	213	27	0	0	0	0	0	0	7	220	27		
	C	6	2	182	22	23	3	71	25	0	0	14	296	52		
76 - 769 2010年 9月	A	0	0	98	12	0	0	0	0	0	0	6	104	12	422	52
	B	0	0	114	14	0	0	3	1	0	0	9	126	15		
	C	9	1	113	15	56	7	6	2	0	0	8	192	25		
76 - 770 2010年 10月	A	3	1	138	18	7	1	3	1	0	0	9	160	21	794	101
	B	0	0	224	28	0	0	0	0	0	0	10	234	28		
	C	5	2	366	47	19	3	0	0	0	0	10	400	52		
76 - 771 2010年 11月	A	0	0	137	18	0	0	6	2	0	0	9	152	20	920	118
	B	0	0	286	36	22	3	3	1	0	0	11	322	40		
	C	1	1	410	52	14	2	9	3	0	0	12	446	58		
76 - 772 2010年 12月	A	0	0	299	39	6	1	5	2	0	0	12	322	42	1314	165
	B	0	0	284	36	7	1	3	1	0	0	14	308	38		
	C	7	2	623	78	36	5	0	0	0	0	18	684	85		
77 - 773 2011年 1月	A	3	1	197	19	17	2	15	3	0	0	0	232	25	671	66
	B	3	1	181	17	10	1	0	0	0	0	0	194	19		
	C	0	0	226	20	19	2	0	0	0	0	0	245	22		
77 - 774 2011年 2月	A	0	0	140	14	0	0	10	2	0	0	0	150	16	679	68
	B	10	1	172	18	25	3	0	0	0	0	0	207	22		
	C	0	0	322	30	0	0	0	0	0	0	0	322	30		
総計	A	19	6	1694	209	30	4	197	67	0	0	96	2036	286	8476	1112
	B	45	8	2034	248	72	9	153	55	0	0	101	2405	320		
	C	42	11	3550	432	240	32	89	31	0	0	114	4035	506		
	A+B+C	106	25	7278	889	342	45	439	153	0	0	311	8476	1112		
前年度																

*773号(2011年1月)より電子版が発行。

表2 英文ジャーナル（電子版）

(2010.3.1～2011.2.28)

Journal名巻、号	登載アドレス	登載日	Review* 巻頭言等 ページ数	件数	Papers ページ数	件数	総ページ数
Journal of Fluid Science and Technology Vol.5, No.1	http://www.jstage.jst.go.jp/browse/jfst/	2010/2/26- 随時公開	1	1	30	3	31
Journal of Fluid Science and Technology Vol.5, No.2		2010/3/25- 随時公開	0	0	265	22	265
Journal of Fluid Science and Technology Vol.5, No.3		2010/7/16- 随時公開	0	0	297	20	297
Journal of Fluid Science and Technology Vol.6, No.1		2011/1/31- 一斉公開	29	3	84	6	113
Journal of Fluid Science and Technology Vol.6, No.2		2011/2/14- 随時公開	0	0	78	6	78
		小計	30	4	754	57	784
Journal of Thermal Science and Technology Vol.5, No.1	http://www.jstage.jst.go.jp/browse/jtst/	2010/1/22- 随時公開	0	0	153	12	153
Journal of Thermal Science and Technology Vol.5, No.2		2010/7/7- 随時公開	0	0	153	11	153
Journal of Thermal Science and Technology Vol.6, No.1		2011/1/18- 随時公開	0	0	56	5	56
		小計	0	0	362	28	362
Journal of Biomechanical Science and Engineering Vol.5, No.1	http://www.jstage.jst.go.jp/browse/jbse/	2010/1/29- 随時公開	1	1	40	4	41
Journal of Biomechanical Science and Engineering Vol.5, No.2		2010/3/23- 随時公開	0	0	91	8	91
Journal of Biomechanical Science and Engineering Vol.5, No.3		2010/4/12- 随時公開	43	4	51	6	94
Journal of Biomechanical Science and Engineering Vol.5, No.4		2010/5/31- 随時公開	1	1	203	17	204
Journal of Biomechanical Science and Engineering Vol.5, No.5		2010/11/17- 随時公開	1	1	161	13	162
		小計	46	7	546	48	592
Journal of Environment and Engineering Vol.5, No.1	http://www.jstage.jst.go.jp/browse/jee/	2010/1/26- 随時公開	0	0	87	7	87
Journal of Environment and Engineering Vol.5, No.2		2010/4/19- 随時公開	0	0	225	20	225
Journal of Environment and Engineering Vol.5, No.3		2010/11/4- 随時公開	0	0	83	7	83
Journal of Environment and Engineering Vol.6, No.1		2011/1/19- 随時公開	0	0	241	20	241
Journal of Environment and Engineering Vol.6, No.2		2011/2/24- 随時公開	0	0	74	6	74
		小計	0	0	710	60	710
Journal of Solid Mechanics and Materials Engineering Vol.4, No.3	http://www.jstage.jst.go.jp/browse/jmmp/	2010/3/31- 一斉公開	1	1	125	11	126
Journal of Solid Mechanics and Materials Engineering Vol.4, No.4		2010/4/30- 一斉公開	0	0	87	7	87
Journal of Solid Mechanics and Materials Engineering Vol.4, No.5		2010/5/31- 一斉公開	0	0	42	4	42

Journal 名 卷, 号	登載アドレス	登載日	Review* 巻頭言等 ページ数	件数	Papers ページ数	件数	総ページ数
Journal of Solid Mechanics and Materials Engineering Vol.4,No.6	http://www.jstage.jst.go.jp/brwse/jsm/	2010/6/30 一斉公開	14	2	240	24	254
Journal of Solid Mechanics and Materials Engineering Vol.4,No.7		2010/7/30 一斉公開	0	0	252	24	252
Journal of Solid Mechanics and Materials Engineering Vol.4,No.8		2010/8/31 一斉公開	0	0	265	24	265
Journal of Solid Mechanics and Materials Engineering Vol.4,No.9		2010/9/30 一斉公開	0	0	74	5	74
Journal of Solid Mechanics and Materials Engineering Vol.4,No.10		2010/10/29 一斉公開	0	0	84	7	84
Journal of Solid Mechanics and Materials Engineering Vol.4,No.11		2010/11/30 一斉公開	1	1	192	18	193
Journal of Solid Mechanics and Materials Engineering Vol.4,No.12		2010/12/27 一斉公開	0	0	74	6	74
Journal of Solid Mechanics and Materials Engineering Vol.5,No.1		2011/1/31 一斉公開	0	0	63	6	63
Journal of Solid Mechanics and Materials Engineering Vol.5,No.2		2011/2/25 一斉公開	0	0	64	5	64
			16	4	1562	141	1578
Journal of System Design and Dynamics Vol.4,No.2		2010/3/31 一斉公開	16	1	136	10	152
Journal of System Design and Dynamics Vol.4,No.3		2010/5/31 一斉公開	0	0	147	11	147
Journal of System Design and Dynamics Vol.4,No.4		2010/8/31 一斉公開	0	0	134	10	134
Journal of System Design and Dynamics Vol.4,No.5		2010/9/29 一斉公開	0	0	136	10	136
Journal of System Design and Dynamics Vol.4,No.6		2010/12/28 一斉公開	1	1	187	14	188
Journal of System Design and Dynamics Vol.5,No.1		2011/1/31 一斉公開	0	0	218	16	218
		小計	17	2	958	71	975
Journal of Advanced Mechanical Design, Systems, and Manufacturing Vol.4,No.2	http://www.jstage.jst.go.jp/brwse/jamds/	2010/3/17- 隨時公開	0	0	130	10	130
Journal of Advanced Mechanical Design, Systems, and Manufacturing Vol.4,No.3		2010/6/30 一斉公開	1	1	169	15	170
Journal of Advanced Mechanical Design, Systems, and Manufacturing Vol.4,No.4		2010/7/8 隨時公開	0	0	66	6	66
Journal of Advanced Mechanical Design, Systems, and Manufacturing Vol.4,No.5		2010/8/31 一斉公開	1	1	289	29	290
Journal of Advanced Mechanical Design, Systems, and Manufacturing Vol.4,No.6		2010/9/6- 隨時公開	0	0	126	11	126
Journal of Advanced Mechanical Design, Systems, and Manufacturing Vol.4,No.7		2010/11/10- 隨時公開	0	0	62	5	62
Journal of Advanced Mechanical Design, Systems, and Manufacturing Vol.5,No.1		2011/2/7- 隨時公開	0	0	44	4	44
		小計	2	2	886	80	888

Journal名巻、号	登載アドレス	登載日	Review* 巻頭言等 ページ数	件数	Papers ページ数	件数	総ページ数
Journal of Power and Energy Systems Vol.4,No.1	http://www.jstage.jst.go.jp/browse/jpes/	2010/2/26- 随時公開	0	0	94	8	94
Journal of Power and Energy Systems Vol.4,No.2		2010/6/18- 随時公開	0	0	87	7	87
Journal of Power and Energy Systems Vol.5,No.1		2011/1/31- 随時公開	1	1	106	9	107
		小計	1	1	287	24	288
Journal of Computational Science and Technology Vol.4, No.1	http://www.jstage.jst.go.jp/browse/jcst/	2010/1/26- 随時公開	0	0	51	4	51
Journal of Computational Science and Technology Vol.4, No.2		2010/6/30- 随時公開	1	1	70	5	71
Journal of Computational Science and Technology Vol.4, No.3		2010/8/13- 随時公開	0	0	60	5	60
Journal of Computational Science and Technology Vol.5, No.1		2011/1/28- 随時公開	0	0	37	3	37
		小計	1	1	218	17	219
Journal of Space Engineering Vol.3,No.1	http://www.jstage.jst.go.jp/browse/spacee/	2010/4/28- 随時公開	0	0	51	4	51
		小計	0	0	51	4	51
Journal of Mechanical Systems for Transportation and Logistics Vol.3,No.1	http://www.jstage.jst.go.jp/browse/jmtl/	2010/1/29- 随時公開	0	0	65	6	65
Journal of Mechanical Systems for Transportation and Logistics Vol.3,No.2		2010/4/14- 随時公開	0	0	77	6	77
Journal of Mechanical Systems for Transportation and Logistics Vol.3,No.3		2010/8/9- 随時公開	0	0	111	8	111
Journal of Mechanical Systems for Transportation and Logistics Vol.4,No.1		2011/1/20- 随時公開	0	0	23	2	23
		小計	0	0	276	22	276
		総合計	113	21	6610	552	6723

3. 本部事業に係る事項

3・1 2009年度(第87期)通常総会・付随行事

行 事	開 催 日	会 場	参 加 者 数
通常総会	2010.4.23		210
付随行事			
総会特別企画「技術者の魅力と学会」	2010.4.23	明治記念館	180
会員パーティ	2010.4.23		220

正員諸君

2010年2月1日
東京都新宿区信濃町35番地
社団法人 日本機械学会
会長 有信陸弘

社団法人 日本機械学会 第87期通常総会招集ご通知

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
さて、本会第87期通常総会を下記により開催致しますので、お忙り合わせご出席願いたく、この段ご通知申し上げます。

敬具

記

◇ 通常総会

日 時 2010年4月23日(金) 15:00~17:20
会 場 明治記念館 富士の間Ⅰ【東京都港区元赤坂2-2-23 電話(03)3403-1171(大代表)】
議 案 1. 第87期事業報告の件 5. 第88期事業予算の件
2. 第87期会計報告の件 6. 第88期理事、監事選出の件
3. 名譽員推薦の件 7. 定款変更案(公益法人改革に伴う
4. 第88期事業計画の件 一般社団法人への移行)の件

挨 捧 新旧会長
表 彰 1. 名譽員推薦状および名譽員章の贈呈
2. 日本機械学会賞、優秀製品賞の贈呈

◇ 会員パーティ

2010年4月23日(金) 17:30~19:00
会 場 明治記念館 富士の間Ⅱ
参加費 5,000円 事前送金並びに当日会場にて申し受けますが、
参加人数確認のため、FAXかE-mailでお申し込み下さい。
日本機械学会総務グループ宛、電話(03)5360-3500、
FAX(03)5360-3508、E-mail: general@jsme.or.jp

◇ 総会特別企画

「技術者の魅力と学会」

2010年4月23日(金) 10:00~14:40 総会同一会場(入場無料)
参加人数確認のため、FAXまたはE-mailでお申し込み下さい。日本機械学会総務グループ宛 FAX(03)5360-3508、E-mail: general@jsme.or.jp

◇ 趣旨 科学技術創造立国を標榜する我が国にとって、数多くの優秀な技術者を継続的に輩出することは国家戦略の重要な柱である。しかし、子供の工学離れ、工学部受験者数の減少、工学部入試難易度の相対的な低下の傾向に歯止めがかかる、グローバルで展開される技術革新の競争の中で我が国の将来が憂慮される状況といえる。
この問題意識のもと、人材育成の観点から、初等中等教育における工学離れへの対策、大学、大学院での技術者教育改革など、多方面で教育についての議論がなされ、新しい施策が始まられている。しかし、この問題の解決には、教育改革だけでは不十分である。より根源的な課題は、「技術者」という職業を子供や若者にとって魅力あるものとし、技術者自身が誇りを持って仕事ができる状況とすることにある。このために、学会として何ができるか、何をすべきかを考える。

◇ 講演 (⑥を除き各講演は30分) 司会 福山満由美((株)日立製作所)

① 10:00~10:30 「技術者の地位向上を目指して」
日本経済は工業製品の輸出に依存し、それは大量の優秀な技術者によって担われている。しかし、若者の技術離れが進行し、日本の将来が危ぶまれている。この解決には、技術者の地位、給料、資格の向上が必要である。
京都大学工学研究科 教授 松久 寛

② 10:30~11:00 「高校生から見る技術者像」
現在の高校生の眼に写る技術者のイメージについて、厚木高校生へのアンケートを通して考える。
神奈川県立厚木高等学校 校長 荒木 高司

③ 11:00~11:30 「もっと魅力的な技術者になるために」
技術者という仕事を子供に勧めないエンジニアに多く会う。これでは技術立国の将来は危うい。背景をふまえマスコミの視点から提言したい。
毎日新聞社 科学環境部 記者 元村有希子

④ 11:30~12:00 「日本の大学におけるグローバルエンジニア育成」
近年、日本においてはグローバルエンジニアの必要性が高まっているが、その育成は企業だけに任されており、大学においては全く無関心であった。工学院大学ではこれまで10数年をかけてグローバルエンジニア育成プログラムを構築してきており、その内容を紹介したい。
Harvey Mudd College (USA) 教授 古屋 興二

12:00~13:00 お昼休み

⑤ 13:00~13:30 「ものづくり産業で活躍する技術者」
日本の産業を支えているのは、自動車、機械等の「ものづくり産業」であるが、次世代を担う人材不足に危機感を持っている。新たなイノベーションを起こし、産業を支える技術者への期待を述べる。
日産自動車(株) フェロー 久村 春芳

⑥ 13:30~14:40 「パネルディスカッション: 技術者の魅力向上に向けた学会の役割」パネラーは上記講演者
(はじめに) 「技術者の魅力向上と学会の役割」
(1) 技術者に魅力はないか、(2) 技術者の果たしてきた役割、(3) 学会は何ができるか、(4) これから技術者への期待、の4つの観点から、世界の動向を踏まえつつ技術者の将来への期待と魅力向上について述べる。
日本機械学会 会長 有信 陸弘 (パネルコーディネーター)



JR 中央・総武線 信濃町駅より徒歩3分

4. 会誌事業に係る事項

4・1 定期刊行物（会誌）

日本機械学会誌

今期に発行した会誌は第1096号～第1107号の12冊で、そのうちつぎのテーマで編集した。

2010年3月号 特集 機械屋になって10年

[メカラライフ編修委員会]

4月号 特集 科学と工学における論争

5月号 小特集 次世代燃料の製造・利用技術

6月号 小さく収める

[メカラライフ編修委員会]

7月号 小特集 農業生産技術の将来展望

8月号 特集 機械工学年鑑

9月号 純麗にする

[メカラライフ編修委員会]

10月号 特集 國際標準化

11月号 小特集 乗り物の未来像

12月号 四力学を活かしたものづくり

[メカラライフ編修委員会]

2011年1月号 特集 最近の安全・安心のための技術

2月号 小特集 科学技術の相互理解

本文で1070ページ、会告282ページ、広告144ページ、差込広告24ページで、総ページ1520ページである。

詳細は表1参照。

4・2 会誌編修部会

会誌編修部会：部会長（委員長） 桑野博喜（編修理事）、他24名、開催4回

1. 日本機械学会誌を発行した。（詳細4・1参照）

2. 特記事項

i) 2011年後半（2011年7月号、10月号、11月号）、2012年前半（2012年1月号、2月号）の企画テーマを決定した。

ii) 九州支部から「高専制度創設50周年」特集号の企画申請があり、審議の結果、2012年4月号の特集とすることとした。

iii) 連載講座として「学力低下時代の教え方」を2009年9月号より掲載。また、新規連載講座として「ものづくり技術と機械設計、そして設計力とは—3D CADの真の活用に向けて—」を2010年5月号より掲載している。

iv) 2010年8月号「機械工学年鑑」特集号の表紙に、2010年度機械遺産に認定した「としまえん カルーセルエルドラド」の写真を掲載した。

v) 2010年10月に「科学技術立国日本を取り戻すには～教育の観点から～」と題して会長座談会を開催し、2011年1月号に掲載した。

vi) 会誌「会告」欄を大幅に短縮する一方、「会告」欄に掲載していた内容を本会WEBページに「イベント情報」として閲覧・検索可能にすることを2010年9月号より実施した。

メカラライフ編修委員会：委員長 森田 昇 他45名、コレスポンデント16名、開催4回

1. 日本機械学会誌の2010年3月、6月、9月、12月の各号を発行した。（詳細4・1参照）

2. 上記6月、9月、12月号にグラビアページを企画し、掲載した。

3. 2011年3月号、6月号、9月号の企画テーマを決定した。

表1 日本機械学会誌

(数値はページ数)

項目 号	記事 〔()内は編数〕	トピックス	委員会 報告、 支部・ 部門だ より	その他	会報	小計	会告	広告	合計	差込 広告	総ページ 数
No.1096 3月号	59 (27)	4	2	19	6	90	20	12	122	2	124
No.1097 4月号	49 (11)	4	3	25	3	84	18	12	114	0	114
No.1098 5月号	48 (12)	4	4	60	4	120	20	10	150	2	152
No.1099 6月号	64 (27)	4	1	17	20	106	20	16	142	2	144
No.1100 7月号	49 (13)	3	1	8	11	72	34	8	114	0	114
No.1101 8月号	97 (26)	3	5	10	1	116	34	10	160	2	162
No.1102 9月号	60 (26)	1	1	16	2	80	34	10	124	2	126
No.1103 10月号	53 (13)	3	4	8	2	70	28	14	112	6	118
No.1104 11月号	59 (15)	4	3	8	4	78	20	8	106	4	110
No.1105 12月号	64 (26)	3	1	31	3	102	14	20	136	0	136
No.1106 1月号	67 (14)	3	1	11	4	86	20	10	116	2	118
No.1107 2月号	49 (18)	3	0	12	2	66	20	14	100	2	102
計	718 (228)	39	26	225	62	1070	282	144	1496	24	1520
前年度合計	666 (233)	61	23	272	54	1076	438	164	1678	38	1716

5. 出版事業に係る事項

5・1 論文編修部会

論文編修部会：部会長（委員長）中井善一（編修理事），編修委員35名，校閲委員957名，開催6回

1. 日本機械学会論文集A, B, C編各12冊を発行した。なお、2011年1月号からは、（独）科学技術振興機構（JST）が運営するホームページ（J-STAGE）にて電子版の無料公開となった。（詳細2・5参照）
2. 特記事項
 - i) 2010年1月～12月までの投稿数は1,191件（内技術論文64件、ノート154件）、掲載数は1,091件（内技術論文40件、ノート151件）である。
 - ii) 紙媒体から電子媒体への移行期であったため、新たな電子投稿・審査システムの講習を編修委員向けに行つた。
 - iii) 校閲委員へ規定のより徹底した周知、および電子投稿・審査システムの講習のため、校閲委員会議を関西、関東、東海の3地区で開催した。
 - iv) 論文編修委員会（A編、B編、C編）制作による論文編修委員会ニュースを毎月1回、関係部門登録者に配信し、論文掲載目次と論文集の現況を伝えた。
 - v) 和文論文集の電子化決定に伴い、投稿・審査システムは米国アリエス・システムズ社のEditorial Manager（EM）を採用【日本語版は（株）アトラスが構築】し、9月1日から受付を開始した。また、可決論文の編修システムは昭和情報プロセス（株）が構築した。
 - vi) 2011年1月号より、論文集A編の副題を「材料力学、機械材料など」に、B編の副題を「流体工学、流体機械、熱工学、内燃機関、動力・エネルギー・システムなど」に変更した。
 - vii) 電子版公開にあたり、従来のB5判2段組からA4判1段組へ原稿フォーマットを変更し、日本語引用文献の日本語表記への変更などを記載した執筆要綱の改定を行つた。
 - viii) 電子版公開にあたり、これまでの「論文」を「一般論文」と呼称し、「一般論文」「技術論文」の上位分類として「原著論文」を設置した。
 - ix) 論文集の執筆要綱・投稿規定等が登載してあるWEBページのデザインを、見やすく使いやすいように変更した。
 - x) 3月に論文編修委員会／英文ジャーナル連絡会議懇談会を開催し、論文の和英間の再録方法の確認、和文の電子媒体移行による論文全体の将来展望などを意見交換した。

和文論文電子化実行委員会：委員長 北村隆行他8名、開催1回

1. 日本機械学会論文集の電子化に伴い、投稿、校閲、登載等に関する基本方針を決定した。
2. 電子化に際し、投稿、校閲のシステムは、米国アリエス・システムズ社のEditorial Managerを採用することとした。
3. 電子に際し、執筆要綱、投稿規程等の見直しを行つた。

5・2 英文ジャーナル連絡会議

英文ジャーナル連絡会議：議長 植田利久（編修理事）他16名、開催3回

1. 英文ジャーナル11誌（分野）を発行した。（詳細2・5参照）
2. 特記事項
 - i) 部門独自の編集・運営による電子版としての下記英文ジャーナルを、（独）科学技術振興機構（JST）が運営するホームページ（J-STAGE）上に公開した。
 - ii) 和文論文集電子版の公開に伴い、校閲委員が指針とする「論文校閲に際してのお願い事項」の文言を見直し、改定を行つた。
 - iii) トムソン・ロイター社から、2009年のJournal of Thermal Science and Technology誌に0.200、Journal of Advanced Mechanical Design, Systems, and Manufacturing誌に0.210のインパクトファクターが付与された。それ以外の雑誌については未付与である。
 - iv) 韓国のバイオメカニクス学会と、Journal of Biomechanical Science and Engineering（JBSE）について共同発行の契約を交わし、今後、韓国バイオメカニクス学会と特集号を発行する予定である。
 - v) 和文論文集が電子公開される2011年1月を機に、J-

STAGE上で公開している英文ジャーナルの論文PDFのコピー制限を解除して公開することとした。

- vi) J-STAGEには、定期購読する論文集の最新情報の通知、自分が執筆した論文が引用された場合の通知機能があるので、積極的に活用を勧める旨をインフォメーションメールにて会員全員に周知した。

5・3 出版センター

出版センター：センター長 沖 善成 他16名、開催4回

1. 直営出版物の発行
 - i) JSMEテキストシリーズ「演習 材料力学」
 - ii) 新・機械技術史
 - iii) 日本機械学会基準S013 摩耗の標準試験方法(改訂版)
 - iv) JSME S NA1-2009 発電用原子力設備規格 維持規格（2009年追補版）、JSME S KAI-2008 核融合設備規格 超伝導マグネット構造規格 英訳合本版（2008年版）、JSME S RA1-2010 再処理設備規格 設計規格（2010年版）
2. 委託出版物の発行
 - i) フルードインフォマティクス「流体力学」と「情報科学」の融合／技報堂出版（株）
 - ii) 機械工学最前線5「安全工学最前線—システム安全の考え方—」／共立出版（株）
3. 新規直営・委託出版の設置および解散
 - i) 新規の直営出版分科会を1件設置し、既存の直営出版分科会を1件解散した。
 - ii) 新規の委託出版分科会を2件設置し、既存の委託出版分科会を2件解散した。
4. 販売促進
 - i) 春のブックフェア（受付期間：2010年4月19日～2010年6月18日）を実施した。材料力学および計算力学ハンドブックそれぞれのシリーズをセットにして会員価格よりも安値で販売し、同時に87期出版センターとして取り組んだ在庫償却を考慮し、在庫過剰が認められる書籍17種類を対象に定価の3割引にて販売した。インフォメーションメールおよび、学会誌5月号の会告欄にて周知を行なった。売上：2,074,400円。
 - ii) 計算力学技術者認定試験1・2級受験者対象「合格応援キャンペーン」（受付期間：2010年10月1日～2010年12月10日）を実施した。対象者は2010年度計算力学技術者認定試験1・2級受験者に限り、会員外でも会員特価にて対象書籍を販売した。専用ホームページの立ち上げ、問題集発送時のDM封入（約800通）、受験票へのDMラベル告知、認定事業委員会発行の標準問題集へ対象書籍を参考文献として詳細に掲載することにより周知を行なった。売上：427,510円（購入者：29名）。
 - iii) 冬のブックフェア（受付期間：2010年12月13日～2011年2月4日）を実施した。対象書籍は機械工学便覧合本α・β編のセットおよびα・β・γ編の全29分冊。β編よりも比較的ニーズの高いα合本とのセットにすることで販売促進を図った。学会誌での告知、専用ホームページの立ち上げ、インフォメーションメールの配信、書籍販売時のラベル告知により周知を行なった。売上：2,092,380円。
 - iv) その他、さまざまな部門の行事において、実際の書籍の見本展示や広告封入、また新刊の発行時にインフォメーションメールでの会員への告知などで販売促進を行つた。
 - v) 年次大会会場でブックフェアを実施した。
 - vi) 単行本総売上約1億円（2011年1月次見込み額）中、今期実施のフェアー売上総額は4,594,290円（総売上の約4.5%）であった。
5. 在庫管理
 - i) 特定の購入者しか見込めない書籍については、管理費用や不要在庫の削減のため、必要なときに必要な分だけ印刷を行なう「オンデマンド印刷」に順次移行することを検討した。
 - ii) 前期に行なった仕分け作業（在庫月数30ヶ月以上の75品目）の結果を元に、「ブックフェア」での販売促進による在庫削減、蒸気表や映像媒体等の絶版と電子データ化を行い、管理費用の削減を図った。
 - iii) 在庫費用削減のため、特に増刷の際に小ロット印刷に重点を置き、在庫の削減を図った。前期10月次の在庫数

83,043冊に対し、今期10月次の在庫数は66,320冊（前期より約20%減）となり、外部倉庫の保管費用について今期は月々5万円程度削減した。

6. 特記事項

- i) 出版センター内に設置されていた2つのWGの機能を見直し、「将来出版構想検討WG」を主とした委員で構成し、新規出版形態として電子出版を進める方向で検討した。
- ii) 計算力学技術者認定事業の協力のもと、新規顧客獲得のための販売促進や新規出版物の提案・審議など、センターの枠を超えて積極的に活動した。
- iii) 「JSMEテキストシリーズ演習 材料力学」および「新・機械技術史」の2冊を刊行し、1件の直営出版分科会を解散した。

5・3・1 出版事業

計測の不確かさ改訂出版分科会：主査 笠木伸英 他5名、開催0回

1. 1999年5月設置

2. ASME側から2010年版の発行について具体的な情報が入るまで、2005年版の翻訳を中断するとともに、印刷・出版、講習会の企画など関連する作業を凍結することになった。
3. ASME側に2010年版に関する情報（発行スケジュール等）の提供を改めて要請し、6月中旬にその回答があった（本年7月以降に校閲し、その内容を2011年1月に検討）。

4. ASME側の発行が整い次第、2010年版の草稿を入手し、改めて翻訳作業を再開することとする。

JSMEテキストシリーズ出版分科会：主査 宇高義郎 他34名、開催4回

1. 2000年6月設置

2. 2010年10月20日に「演習 材料力学」を発行した。
3. 「熱力学」「伝熱工学」の中国語版の編集作業が進み、正誤の確認と図・表のチェック作業中である。また、新たに「流体力学」の中国語版発行に関する契約を締結した。
4. 遅れている「機械工学のための数学」については、新たに2名の編集委員を追加し承認。早急に執筆者との打合せを行い、編集作業の進捗を図る。

機械技術者のためのエネルギー工学出版分科会：主査 吉田英生 他9名、開催3回

1. 2002年4月設置

2. 2009年11月15日執筆者会議開催。各章原稿のトーンの調整を行い、合わせて内容と目次の見直しをした。
3. 2010年7月27日に一部の章の執筆者交代・最終原稿チェックのため執筆者会議開催。
4. 2010年10月19日、12月28日の会議でに再度内容の検討と、具体的に記号・キーワード・図など細かい点についての見直し、2011年3月11日の会議で最終的な編集作業を行い、2011年度の発行を目指す。

新・機械技術史出版分科会：主査 三津間秀彦 他12名、開催1回

1. 2007年7月設置

2. 2010年9月24日に最終の委員会を開催。
3. 2010年12月24日発行。今期で本分科会を解散する。

機械実用便覧改訂第7版出版分科会：主査 本阿弥真治 他13名、開催0回

1. 2008年5月設置

2. 2008年6月、第1回出版分科会を開催。発行計画と編集方針の会議を行った。
3. 2008年11月、第3回出版分科会を開催。目次を決定し12月に執筆依頼を行った。原稿締め切りは2009年3月末とした。

4. 2010年12月末では未脱稿者3名。

5. 8章、9章、3章、13章を入稿。遅れている5、7、12章についても未脱稿者に督促しながらさらに作業を進めていく。

ロボット工学出版分科会：主査 田所 諭 他9名、開催2回

1. 2008年9月設置

2. 2010年8月30日～9月1日および2011年2月25日に出版分科会を開催。

3. 原稿は9割程度完成。2011年6月印刷所入稿、2011年9月発行を目指す。

先端事例から学ぶ機械工学出版分科会：主査 田口裕也 他9

名、開催0回

1. 2010年10月設置

2. 1～8編分全ての原稿が揃っており、総ページ数などを考慮し、著者へ内容の削除および短縮を依頼中。また編集委員に査読を依頼し、その結果を原稿に反映中。
3. 著者からの回答があり次第、事務局サイドで編集をし、進行させて行く予定。
4. 印刷所とのスケジュール調整を行い、2011年3月中旬発行を目標とする。

5・3・2 その他の出版物（委託出版など）

超精密シリーズ委託出版分科会：主査 塚田忠夫 他6名、開催0回、出版社：(株)コロナ社

1. 「超精密システムの設計技術」は1996年3月発行。
2. 「超精密形状計測技術」は1996年12月発行。
3. 「超精密加工技術」は1998年11月発行。
4. 「超精密環境制御技術」は執筆辞退により、各執筆者・担当者の承認を経て発行中止。今期で本分科会を解散する。

フルードインフォマティクス委託出版分科会：主査 早瀬敏幸 他6名、開催0回、出版社：技報堂出版(株)

1. 2002年11月設置

2. 2010年4月発行。今期で本分科会を解散する。

機械工学最前線委託出版分科会：主査 井門康司 他5名、開催0回、出版社：共立出版(株)

1. 2004年4月設置、2007年8月23日に共立出版社にて出版分科会を開催。

2. 「運動と振動の制御の最前線」および「CFD最前線」を2007年4月に発行。販売部数700部。

3. 「マイクロバブル最前線」を2009年2月に発行。

4. 「非破壊検査工学最前線」が2009年7月に発行。

5. 「安全工学最前線」が2011年1月に発行。

6. 「流体工学最前線」の2編については著者から修正原稿が届き、残り1編については執筆者からの入稿待ち。年度内に発行できるよう努める。

7. その他、「柔らかロボットへの挑戦」、「自動車工学最前線」、「バイオメカニクス最前線」、「MEMSとNEMSの最前線」のいずれもすべて入稿待ち。進捗状況のよくないテーマについては発行を含めて、印刷所と再検討予定。

法工学入門委託出版分科会：主査 近藤惠嗣 他4名、開催1回、出版社：(株)JIPMソリューション

1. 2008年12月設置

2. 2008年12月に第1回編集会議を開催し、2009年1月に執筆依頼を行った。

3. 2009年10月に第2回編集会議を開催し、今年度中の発行を目指すことを確認した。

4. 現在、8割程度の脱稿状況。脱稿された原稿は編集委員査読後、著者による修正を行っている。脱稿していない原稿、再度修正依頼する原稿については2010年度年次大会終了頃を目指して完了することとし、査読後の修正を行った原稿については、入稿原稿の作成を行う。

知って納得！メカランド委託出版分科会：主査 森下 信、開催1回、出版社：(株)朝倉書店

1. 2010年9月設置

2. 執筆項目全30項目中（予定）、15項目の第一次原稿脱稿。朝倉書店編集部で原稿内容の検討中。

3. 3月末までに全項目の第一次原稿完成予定。

4. 4月末までに、朝倉書店で検討した内容が森下主査へフィードバックされ、第二次原稿（完成稿）のための加筆修正を行う。

低炭素社会実現に向けたエネルギー変換技術の展望出版分科会：主査 稲毛真一 他15名、開催1回、出版社：森北出版(株)

1. 2010年6月設置

2. 出版社と打ち合わせを行い、目次（概要）案を作成。

3. 原稿要綱を作成し、分科会を通じて各著者に2011年3月締切で執筆依頼中。

4. 2011年5月頃印刷所に入稿し、同8・9月で校正、同11月の発行を目指す。

(a) 新刊

書籍名	判型・本文ページ	発行年月
日本機械学会基準S013 摩耗の標準試験方法（改訂版）	A4判 約56ページ	2010年3月
JSME S NA1-2009 発電用原子力設備規格 維持規格（2009年追補版）	A4判 約110ページ	2010年5月
JSME S KA1-2008 核融合設備規格 超伝導マグネット構造規格		
英訳合本版（2008年版）	A4判 約430ページ	2010年9月
JSME S RA1-2010 再処理設備規格 設計規格（2010年版）	A4判 約340ページ	2010年10月
JSMEテキストシリーズ「演習 材料力学」	A4判 188ページ	"
新・機械技術史	四六判 582ページ	2010年12月

(b) 重版

書籍名	刷数	発行年月
JSMEテキストシリーズ「流体力学」	7刷	2010年3月
JSMEテキストシリーズ「機械材料学」	3刷	"
JSME S NB1-2007 発電用原子力設備規格 溶接規格（2007年版）	4刷	2010年4月
JSME S NB1-2008 発電用原子力設備規格 溶接規格（2008年追補版）	3刷	"
JSMEテキストシリーズ「演習 伝熱工学」	2刷	"
JSMEテキストシリーズ「熱力学」	8刷	2010年8月
JSMEテキストシリーズ「材料力学」	4刷	"
JSMEテキストシリーズ「制御工学」	7刷	"
機械工学事典	3刷	2011年1月
機械実用便覧 改訂第6版	15刷	"
JSME S NB1-2007 発電用原子力設備規格 溶接規格（2007年版）携帯版	4刷	"
JSMEテキストシリーズ「伝熱工学」	7刷	"
JSMEテキストシリーズ「機械材料学」	4刷	"

(c) 委託出版（新刊）

書籍名	判型・本文ページ	出版社	発行年月
フルードインフォマティクス—「流体力学」と「情報科学」の融合— 機械工学最前線5「安全工学最前線—システム安全の考え方—」	B5判 198ページ A5判 154ページ	技報堂出版(株) 共立出版(株)	2010年4月 2011年1月

6. 部門事業に係る事業

6・1 部門協議会(部門・研究会・分科会・専門会議)

部門協議会：議長 山崎光悦（企画理事）他24名，開催3回
今期、審議・協議を行った主な事項は以下の通りである。

1. 日本機械学会提供の電子サービスやバナー広告料金等について討議を行い、広報理事に意見を伝えた。
2. フェロー推薦制度の問題点について討議を行い、フェロ一選考委員会および理事会に検討を依頼した。
3. 日本機械学会若手優秀講演フェロー賞に関する規定について討議を行った。
4. ロボティクス・メカトロニクス部門より、ロボットグランプリへの財政支援について依頼があり、財務理事会での検討を依頼した結果、機械工学振興事業資金助成事業に申請してほしいとの回答があった。
5. 法工学専門会議の継続に関して意見交換を行った。
6. 部門評価の基本方針等に関する提案について討議を行い、支部・部門活性化委員会委員長に意見を伝えた。
- 7.マイクロ・ナノ工学専門会議の部門化に関する意見交換を行い、意見聴取を行う部門の募集等が行われた。
- 8.論文集電子化に伴う特別員向け会員サービスについて討議を行った。
- 9.材料力学部門より、持ち回りで開催される理論応用力学講演会にて、2011年度幹事となるため、委員推薦および部門横断セッションへの協力が要請された。
- 10.部門賞規定の改定（設計工学・システム部門）が報告され、承認された。
- 11.部門協議会直属分科会（P-SCC マイクロ気体流れに関する調査研究分科会）の設置が承認された。
- 12.部門（専門会議）マークの新設（スポーツ・アンド・ヒューマン・ダイナミクス専門会議）が承認された。

各部門で実施された集会事業は17ページ一覧表に記載のとおりであるが、集会事業以外で各部門の活動特記事項は次のとおりである。

1. 計算力学部門：部門長 辰岡正樹、他31名、運営委員会開催 4回
 - 1) 総務委員会、広報委員会、事業企画委員会、年次大会担当委員会（2010年度および2011年度）、計算力学講演会担当委員会（2010年度および2011年度）、表彰担当委員会、事業企画委員会、計算力学技術者認定支援委員会、英文誌編修委員会、他技術委員会（総数：5）、計算力学に関する国際交流委員会を設置し部門運営にあたった。
 - 2) 第23回計算力学講演会（9月23日～25日、於北見工業大学、実行委員長：大橋鉄也、北見工業大学）を開催した。
 - 3) 部門賞として、功績賞、業績賞の受賞者を選定し、第23回国計算力学講演会にて表彰した。
 - 4) 各技術委員会、研究会企画の講演会、講習会を複数回開催した。特に、計算力学技術者認定試験対策講習会は、固体力学分野4回（関東、東海、関西、九州の各地区）、熱流体力学分野3回（関東、東海、関西の各地区）を実施した。
 - 5) ニュースレター44号、45号を発行した。
 - 6) フェロー候補者の推薦を行った。
 - 7) 奨励賞候補者の推薦を行った。
 - 8) 部門英文誌Journal of Computational Science and TechnologyのVol. 4 No. 1, No. 2, No. 3 を発行した。
 - 9) 2010年度年次大会において流体工学、熱工学、材料力学部門と4部門合同同好会を開催した。

〔所属研究会〕

- A-TS 01-09 逆問題解析手法研究会
主査：久保司郎 開催：3回
- A-TS 01-13 九州地区計算力学研究会
主査：萩原世也 開催：4回
- A-TS 01-15 マルチスケール計算固体力学研究会
主査：志澤一之 開催：9回
- A-TS 01-19 電磁流体解析関連技術研究会
主査：金山 寛 開催：3回

A-TS 01-20 複合領域における設計探査研究会

主査：大林 茂 開催：2回

A-TS 01-21 治し工学研究会

主査：北岡哲子 開催：1回

A-TS 01-22 マルチスケールモデリングによる材料科学研究会

主査：尾方成信 開催：1回

2. バイオエンジニアリング部門：部門長 松本健郎、他29名、運営委員会 開催4回

- 1) 総務、広報、国際、企画、ジャーナル編集、各講演会組織の各委員会を設置し、部門運営にあたった。
- 2) 英文ジャーナル "Journal of Biomechanical Science and Engineering" Vol. 5, No. 2～5を発行した。
- 3) ニュースレター39号を発行した。
- 4) 2010年度年次大会に関し、部門単独で基調講演2件、オーガナイズドセッション2件、部門合同で、ワークショップ1件（機械力学・計測制御部門、流体工学部門）、市民フォーラム1件（機素潤滑設計部門、機械力学・計測制御部門、ロボティクス・メカトロニクス部門）、オーガナイズドセッション10件（材料力学部門、流体工学部門、計算力学部門、熱工学部門、機素潤滑設計部門、設計工学・システム部門、ロボティクス・メカトロニクス部門）を企画、実施した。
- 5) 部門賞として、功績賞1名、業績賞1名、瀬口賞1名の受賞者を選考し、第23回バイオエンジニアリング講演会にて表彰した。
- 6) フェロー賞3名を選考し、第23回バイオエンジニアリング講演会にて表彰した。
- 7) 6つの部門研究会を通じて、新規テーマの開拓、調査・研究活動を実施した。
- 8) 医工学テクノロジー分科会の幹事部門として活動を取りまとめた。
- 9) マイクロ・ナノ工学専門会議、スポーツアンドヒューマンダイナミクス専門会議、法工学専門会議の活動に協力した。
- 10) 第8回生体医工学サマースクールに協力した。
- 11) 以下の講演会を開催した。
 - ・第35回バイオサロン（2010.3.30、東京）
 - ・生活生命支援医療福祉工学系学会連合大会2010（幹事部門、2010.9.18～20、大阪）
 - ・第21回バイオフロンティア講演会（2010.11.12～13、金沢）
 - ・Biofrontier Symposium 2010（2010.11.12、金沢）
 - ・第36回バイオサロン（2011.1.7、熊本）
 - ・第23回バイオエンジニアリング講演会（2011.1.8～9、熊本）

〔所属研究会〕

A-TS 02-04 制御と情報一生体への応用研究会

主査：早瀬敏幸 開催：2回

A-TS 02-05 計測と力学一生体への応用－研究会

主査：但野 茂 開催：2回

A-TS 02-07 生体機能の解明とその応用に関する研究会

主査：松本健郎 開催：1回

A-TS 02-08 生体システム技術研究会

主査：高松 洋 開催：2回

A-TS 02-09 生物機械システム研究会

主査：田中正夫 開催：2回

A-TS 02-13 傷害バイオメカニクス研究会

主査：一杉正仁 開催：2回

3. 材料力学 部門：部門長 中村春夫、他31名、運営委員会開催 3回

- 1) 総務、広報、技術委員会を設置し、部門運営にあたった。
- 2) M&M2010材料力学カンファレンスを2010年10月に長岡技術科学大学にて開催した。
特別企画5件、オーガナイズドセッション17件、ポスターーション56件、総講演件数380件であった。
- 3) M&M2010材料力学カンファレンスにおいて、次の5件の